京城日報

[illegible]物は京城の割安不引合を唱へ多く仁川市場に商談を向くる模樣なれば精米所原料不足の補充として中には九[illegible]國近かく出來せしものもありさか地埋精米所の多くは今後の新穀出盛期

鳥致院籾一七七叺　鳥致院籾一八〇叺　清川玄米三一九叺　鳥致院白一八七叺　鳥致院[illegible]豆一〇叺　鳥致院白七七叺　鳥致院籾六一叺　鳥致院籾四六叺　鳥致院[illegible]三〇叺　鳥[illegible]白米[illegible]三叺

[illegible]

▲依然保合ふ

▲檢米規定に付き

▲大阪精米高原因

列強大戰

▲提議失敗　勃國聯合國に背く

路透社の探知する所に據れば最近巴爾幹に於ける時局の發展を見るに勃國政府は既に聯合國側の提議を斥けたるに相違無きものゝ如く聯合國側に對し今日迄何等の回答無く隨つて其提議は失敗に終れるなり（倫敦電報）

▲塞へ進軍

マッケンゼンの軍勢二十五萬他二千門を具して塞耳維に近づきつゝあり（露都電報）

▲重要軍議　巴爾幹問題會議

ローマに於て頗る重要なる軍事會議開催せられ首相サランドラ氏を始め陸海兩相及び大藏の各大臣參集し參謀次長ポーロ將軍も是れが爲め特に戰地より召喚せられたり巴爾幹の問題に關する協議ならん（露都電報）

▲此一擧か　獨軍次第に疲弊

露軍のドゥインスクに於ける運動は最も重要の性質を帶ぶるものなり獨軍も亦スモルゴンの南に於て活動しつゝあり而して敵が次第に疲弊し來りつゝありとの一般的印象は從前に變らず而して露國に於ける戰鬪の花落決せざるを焦慮しつゝあり（露都電報）

○殿下御通過　閑院宮

閑院宮同妃兩殿下朝鮮よりの御歸途御召艦常磐にて六日午前七時御無事關門を御通過あり（門司特電）

○無所屬團一行

無所屬團田村新吉、金澤種二郎、大木喬命、西田庄助、河崎助太郎、原本大三郎、重盛信近、青木磐雄の八名六日午前來釜同十時三十分發東萊に赴きたるが一行は同午後十一時發列車にて京城に向ふ可し（釜山特電）

○中橋德五郎氏

中橋德五郎氏五日夜木浦に來り六日午前市中を視察し午後須磨丸にて出發す（木浦特電）

○高崎松井兩氏

高崎親章氏松井水産局長五日木浦に來著六日出發せり（木浦特電）

○德富綱島兩氏

德富猪一郎綱島佳吉の兩氏六日朝釜山著直に汽車にて京城に向へり（釜山特電）

●意想外な此の進歩

關東都督府民政長官　白仁武氏談

大連を出る時には全く冬仕度で來て見た處が、御覽の通り京城に來て見ると素肌に浴衣掛と云ふ有樣朝鮮は初めてだが

▲素敵に氣に入りました　物珍らしく初めて來たゞけに何を見ても珍らしく寸隙を偸んで諸處方々を視察して見たが、全く驚かされて終つた、先づ第一は産業の發達である、始政以來五年と云ふに此樣な長足の發達を來したと云ふことは、統治者其宜しきを得たるは勿論なるも朝鮮人も亦大に當局に督勵せられて其の惰眠から覺めたものと見える、單に産業の發達したと云ふことに止まらず近來著しく貯蓄心が出來て家は穢いけれども金はあると云ふ樣になつて來たと云ふことであるからして益々賴母しいと云はねばならぬ何んと云つても

▲農は國の大本　である日本內地の百姓は一家五人口として八反程の割合であるが朝鮮は一町二反の割合に當ると云ふことであるからして、是から農作の改良を行りさへすれば土地から黃金が湧いて出るのである、今後朝鮮の開發に最も力を盡し且最も有望なものは鑛山と農作であらう、これさへ進歩發展して行けば工藝や其他のものは自ら開拓されて行くと思ふ、此調子で五十年もすればそりや實に世界の耳目を驚かす樣な進歩を來すことは必定である、滿洲などは到底現在の處比べものにはならんサ共進會も二回續けて詳細に視察したが何れの生産品も大底四倍乃至五倍になつて居るのには驚嘆の外はない産業の發達と共に感心したことは

▲教育の普及　である、學校も朝鮮人の方は大方視察を遂げたが書堂鄕校時代から一足飛びに新文明の教育を受くる樣になつた朝鮮の兒童は實に宜く教育されて居る、就中國語の普及と云ふ一點に至つては何國人と雖も比肩す可きものがあるまい、支那人などに三年も掛つて教へる處を僅々三四箇月間で修得すると云ふことだから實に驚く、國語の修得力が殆んど天才的であると云ふことは懸て朝鮮人の幸福を增進する所以であつて、宜しく朝鮮の兩班などゝ云ふ者も長夜の夢から醒めて勤儉力行以て農民の指導者たらんことを希望して已まぬ、近來朝鮮人が徒らに外觀を衒うと云ふが如き風は朝鮮將來の爲に大に惜むべきである

◎行幸御決定

聖上陛下は來る十二月一日午前十時三十分宮中御出門貴族院に行幸親しく第三十七帝國議會開院式を行はせらるゝことに御決定相成りたり（東京特電）

●大饗賜饌　屆出期注意

即位禮及び大嘗祭の後大饗第一日の儀の當日即ち十一月十六日左記の諸員は其地方に於て饗饌を賜はる可きに就き右の中一より十迄の該當者は十月十日迄に各道長官に宛て書留郵便を以て宿所、位階、勳等氏名を屆出す可しと

（一）高等官（在鄕軍人將校を含む）（二）高等官待遇者（三）有爵者（四）從六位勳六等以上の有位帶勳者（五）藍綬褒章受領者（六）綠綬褒章受領者（七）神佛各宗派管長（八）門跡寺院住職（九）道參事（十）在職判任官二等以上並に同待遇者（十一）地方名望家、其他の優遇者

●千代田入港期

軍艦千代田は愈々十四日仁川入港の事となりたり因みに十四日迄仁川港內にて光濟號觀覽を許可する事となり居りたるも同號は既に木浦に向け解纜せり

●總督一行歸任

五日閑院宮同妃兩殿下を釜山に奉送したる寺內總督一行は李太王代理閔長官、李王代理李秉武子、李埈公及び李堈公代理金張各武官等の外川村副團長、立花警務總長等と共に同夜直ちに引き返し六日午前六時三十分南大門驛著汽車にて歸任したり

朝刊と合せて二十頁

不許定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金六拾五錢　（郵送料）…　三ヶ月金壹圓九拾錢　六ヶ月金三圓…
廣告料　五號活字一行金七拾錢…

發行兼編輯人　田[illegible]
印刷人　[illegible]
發行所　合資會社　京城日報社
京城太平通一丁目
電話　編輯　[illegible]
振替貯金口座京城三〇〇

●政務總監出發

山縣政務總監は日本赤十字社朝鮮本部總長の資格を以て七日平壤に開催の赤十字社愛國婦人會總會に列席の爲め遠藤秘書官、部主幹等を隨へ六日夜南大門驛發汽車にて平壤に向ふ

●王公名代歸任

寺內總督一行と同車閑院宮兩殿下を釜山に送り申上げたる李王職李太王殿下御名代閔長官李王殿下御名代李秉武子李埈公殿下御名代金南武官李堈公殿下御名代張武官の諸氏は六日午前六時三十分南大門驛著列車にて歸京せり

●小澤男一行發

日本赤十字社副社長小澤武雄男一行並に愛國婦人會副會長濱尾男爵夫人、棚橋理事、伊集院評議員等一行は七日平壤に開催さる可き赤十字社愛國婦人會支部總會に參列の爲め六日午前九時十分南大門驛發汽車にて平壤に向へり

●小松原氏入京

東洋協會朝鮮支部大會に出席のため來鮮したる小松原英太郎氏は五日午後九時南大門著にて入京せり途中迄は弓削學務課長、澤田第一課長、大槻主幹等出迎へ南大門には山縣政務總監、兒玉、持地、關屋の三局長、秋山參事官其他百餘名の出迎あり折柄奉天方面に向け出發間際にありし後藤男、白仁、改野等の諸氏と快談を交へ旅館巴城館に投宿したり六日は總督府に寺內總督其他を訪問せり

●淺田大將消息

守備隊視察の爲め元山に赴きたる軍事參議官陸軍大將淺田信興氏は七日午後南大門著列車にて元山より入京暫時休憩の後直ちに釜山に向け出發す可しと

●愛婦會慰勞會

愛國婦人會朝鮮本部にては濱尾副會長一行慰勞の爲め五日午後三時より朝鮮ホテルに於て茶話會を開けり來會者は濱尾副會長、棚橋理事、伊集院評議員等一行の外本部役員等約五十名にして三曲合奏、朝鮮歌舞等數番の餘興ありたり

●細川侯入京

細川侯爵は六日午後九時南大門驛著列車にて入京朝鮮ホテルに投宿の筈京城熊本縣人會は八日夜京城ホテルにて侯爵の歡迎會を開くべしと

●德富本社監督

本社監督德富猪一郎氏は故市原總裁葬儀に參列の爲め六日午後九時著列車にて入京す

●博多實業團入京

博多實業團一行三十二名は六日午前南大門驛著入京せるを以て協贊會にては同觀光團を慶會樓に招待して茶菓の饗を饗せり尚在京筑前人の組織せる筑前人會にては一行を八日南山町喜久家に招じて歡迎會を開くと

●奉天記者團弔電

朝鮮銀行總裁市原盛宏氏の易簀に對し奉天記者團は四日朝鮮銀行宛左の弔電を送り來れり

總裁逝去の報に接し痛惜に堪へず謹んで追悼の意を表す

▉共進會入場者

五日（火曜日「曇天」）

	晝間	夜間
總數	一萬零四百四十五人	一千二百六十六人
內地人	二千百八十六人	二百十八人
朝鮮人	六千八百二十九人	六百六十七人
支那人	四十二人	四人
其他外人	三十八人	六人
無料者	一千三百四十八人	三百七十一人

▲合計　一萬一千七百十一人

△開場以來累計▽

▲總計　四十四萬九千八百廿八人

●山口縣農學生來鮮

山口縣立農業學校職員生徒四十一名は修學旅行を兼ね共進會觀覽の爲め六日朝釜山著來鮮せるが同夜釜山發列車にて出發七日朝入京の豫定也と

人事消息

▲小松原英太郎氏（東洋協會々長）　五日夜入京巴城館へ
▲原田助氏（同志社々長）　市原總裁葬儀參列の爲め六日朝入京朝鮮ホテルへ
▲永田包雄氏（咸興典獄）　六日朝出發歸任
▲古城梅溪氏（贊化醫院主）　歸國中の處歸京
▲長崎省吾氏（宮中顧問官）　五日內地へ
▲手塚太郎氏（長崎控訴院長）　同上
▲小山松吉氏（同檢事長）　同上
▲金子圭介氏（前代議士）　五日午後入京
▲前田秀實氏（門司港務部長）　同上
▲森悟一氏（光州農工銀行支配人）　五日入京不知火へ
▲岩崎虎次郎氏（全州農工銀行支配人）　同山本旅館へ
▲山本好造氏（咸鏡農工銀行支配人）　同上
▲大坪敎信氏（大分縣水産組合技師）　同井旅館へ
▲八代重行氏（福岡縣水産組合長）　同上
▲伊藤德順氏（平壤地方法院檢事正）　五日夜歸任
▲太藤警視（安東警察署長）　五日夜入京
▲鐵道協會員二百五名　六日入京
▲中村秀夫氏（蔚山支廳判事）　六日入京不知火へ
▲黎原三雄氏（平壤覆審法院判事）　同上
▲遠藤柾治氏（平壤地方法院判事）　同上
▲垂水幸吉氏（鎭南浦支廳判事）　同上
▲竹內維彥氏（工學博士）　同上天眞樓へ
▲櫻井孝治氏（新潟日日記者）　同上清光館へ
▲中西淳亮氏（東京日々記者）　同上山本旅館へ
▲竹村友三郎氏（居昌支廳判事）　同上
▲藤田秀實氏（愛知縣內務部長）　同上
▲濱尾咲子氏（愛婦役員）　六日平壤へ
▲堀尾文太郎氏（釜山地方法院判事）　六日入京
▲松本風涯氏（世界新聞記者）　地方視察へ
▲上野大安氏（同主事）　同上
▲奥野大佐（新任四十八聯隊長）　六日朝出發赴任

觀覽團消息

△順天千七百人△咸興百廿八人（以上五日北部入場）△孟山綠邊德川百十四人△牙山八十九人△安邊百二十二人△松禾四十五人△殷栗三十九人（以上五日入京）△江東普通學校生徒三十一人△浦川三十一人△慈山二十一人△晋州八十八人△梁山三十一人△山淸四十八人（以上六日入京）

南言北語

▲帝政を引つくり倒して共和政にしたかと思ふと又た帝政にせんとする支那人も隨分氣が早い▲殊に第七師團長の張敬堯と云ふ帝政連決の急先鋒の一人は袁氏にして登位を謙讓せば吾人軍人は總辭職をする▲幸に帝政に定まつたならば直に軍備を擴張し外國と一戰して國威を揚げ世界の強國たるを期すべしと鼻息當るべからずだ▲其樣選にエラクなられては堪らぬ而し此の勢で帝政論を荷で居るから大概の反對論者は鐵拳で張り飛ばされる▲處が此の手合を前に回して其の鐵拳を爆彈で碎からうと構へて居る反對論者も南淸邊に居るから活劇は之れから▲武昌の籌安會では机の下から爆彈を發見したので悉然腰を拔かした連中も多い威張る奴に限つて存外腰のつがいが淺いから直ぐ拔ける▲宣統帝の居る宮城は殆ど改築する迄の修理をして居る相な▲其の竣工と共に袁世凱氏が帝位に登つて其處に這入り宣統帝は萬壽山に移ると云ふ▲宣統帝を婿にした袁氏は自分は帝位に養子に行く樣なもので兩方ともお目出度が重なる譯だ▲其のお目出度が出來るとすぐ戰爭なんてイヤ早や物騷千萬何うか此方へ火の粉を飛ばさぬ樣に願ひたい▲過日入京して居た內田中將が赤ネクタイで二等列車の二等室を瞭く占領して居た▲處が大に空腹を感ずるので通りかゝつたボーイに麵麭を命じた▲ボーイは何と思つたか麵麭は定食でなければありませぬと劍突を食はせた▲然らばお茶をと云ふとボーイ君面倒と云はぬ計りに茶は彼方へ行つて呑んでお來なさいとやつた▲中將大分面食つて怒らなくつても可いではないかと云ふと▲怒つて居る譯ではありませぬせはしいからですとサッサと行つて仕舞つた▲中將赤ネクタイを捻りながらイヤ何うも之れでは己れが承知しても腹の蟲が承知せぬワイ

▲廣告▼

商業登記公告

朝鮮實業株式會社取締役及監査役全員任期滿了ノ處李秉斗及高應源ハ大正四年九月二十一日重任シ且左記ノ者取締役及監査役ニ當選同日就任シタリ
京城府黃金町二丁目十六番地　取締役　柳基泳
京城府黃金町二丁目四十一番地　監査役　劉漢杓
同所三十九番地　監査役　[illegible]
右取締役柳基泳ハ會社ヲ代表スヘキ
右大正四年九月二十九日登記

日韓瓦斯株式會社監査役平野時六、林千八ハ任期滿了ノ處大正四年九月二十日重任シ且左記ノ者監査役ニ當選同日就任シタリ
熊本市山崎町四十四番地　生駒直
右大正四年九月三十日登記

地番ノ設定ニ依リ株式會社百三十銀行仁川支店ノ所在地ヲ仁川府本町二丁目二十八番戶ノ十九番地ト變更シタリ
右大正四年十月四日登記

京城地方法院

東京神田區東龍閑町九
見本定價表進呈
島村友三郎商店

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と可成親切を旨とし御高需に應じ可申候
京城日報社　寫眞製版部

祝共進會紀念即賣會
書畫、骨董、ヒスイ、高麗燒
貴顯紳士諸彥の御土産に適當品澤山
本町二裏通（電話七八四番）
京城株式會社
正札附陳列　縱覽無料
自午前八時至午後六時

京染
染料暴騰以前見越買込有爲染代値上せず從來同直段を以堅牢迅速に染上候
京都市柳馬場五條北入　振替大阪[illegible]
福田庄兵衛商店
●特約取引專業●

院長　岡田醫學士　村上德一
內科　小兒科　婦人科
京城醫院
京城本町二丁目（電話七四二番）

農業世界
十月號には大隈首相の「食糧問題と米價調節策」を始め必讀文字滿載
定價廿錢　郵稅二錢
東京　博文館

緊急廣告
朝鮮滿洲青島　一手販賣元　京城府龍山漢江通八番地　中井出張店
新案特許　御大典奉祝用花環燈大販賣
花環燈　黃色裝飾直徑一尺五寸片面定價四十錢以上
大花環燈　各戶軒前直徑二尺片面定價七十五錢以上
幡付一尺燈　式場、緣門、正門、市街用兩面定價七圓以上
銀モール織所付自在腕金具付共定價壹圓五十錢以上
黑木塗金具付
▲府郡町村の區域に依て販賣店を特約仕候間御照會次第直ちに詳細通知可仕候
申込所
京城本町二丁目　森安商店
仁川仲町三丁目　仁川用達社

沈滯を破る浮田博士の快文章
實業之日本
□萬難踏破力……社長　增田
□三井、三菱、第一、第百銀行の首腦者を論ず……楚水生
□三井へ一本參る……實業和尚
□實業和尚へ一本參る……大倉高商出身（坪五厘の見あり）
□宅地利用の新方法……
讀め!!　浮田博士の書生學
◎大志望論
△高偉なる大志望の力
△內外の三大英雄を對論す
△天才以上の天才とは何ぞ
△大志望の根底たるは何ぞ
□高位高官論……新渡戶博士
□森村翁の一言凜然たり……記者
□冥土より雷侯の手紙……猿冠者
□肩の凝りと頭痛の治療法……櫻田醫學士
□內外紳士の集會所東京倶樂部のぞき……超部
□常識と學識……博士
十月一日發行　定價壹拾錢　郵稅壹錢　東京京橋　實業之日本社

金牌　貳個
馬山全鮮清酒品評會
日獨戰勝紀念博覽會
受領
品質優良と價格の安價を以て好評を博せる誠鶴印は
飛躍!
京城南大門通五丁目（河村運送店隣）
誠鶴京城支店を開店す
仁川龍岡町　深見釀造場

男爵曰く

グレーターヂヤパンの實現に努めよ

五日夜九時四十分後藤男は滿洲へ向け京城を發つた其車內の氣焔!

特別車の喫煙室で葉卷を燻らしながら頗る上機嫌の後藤男は念の入つた頭部を左右に傾げつゝ快活に語る、『君、朝鮮の進步は非常なものだよ今度の共進會は施政五年の記念と云ふけれども

■創始は困難なり

で、此五年の間からは如何なる場合にも免る可らざる過渡期を引き去らねばならぬ、さうすると結局彼の共進會に表れたるものは過去二三年間に於る施設の成績であると見なければならぬ、其の短かい二三年間に彼れ丈けの事が出來たと思へば實に進步の顯著なる驚嘆の外はない、施政の治績を展示して歷然たる共進會を觀て吾輩は朝鮮といふ處は既に農業の基礎が確立し而して工業の素地が充分に備はり前途の頗る有望であるといふ事の信念を得た、更に五年十年の後に如何なる發達を來すべきかは今日より想像し得るのである。日本の植民政策總督政治といふものに就て種々の批評を試みるものがあるが、多くは評するもの未だ日本の殖民政策の眞髓を知らぬ、從て批評する資格なくして濫りに評するものである。日本の殖民政策は日本流のものでなくてはならぬ、外國の殖民政策を鵜呑みにした生意氣な頭腦や外國の書物や雜誌で得た輕薄の智識で

■日本の殖民策を

論じ、總督政治を外國式の飜譯で行うなどとは以ての外だ。日本の殖民地經營は自から他國の夫れとは異なる特殊の關係立場に在るので、その特異の關係といふ事は總理大臣も知らぬ、政治家も知らぬ、議會などで隨分いろんな議論が出るが政府側も議員側も實は徹底した智識を有つて居らぬ、淺ましい事だ。朝鮮でも臺灣でもさうだが、一體總督といふものは今の日本の現狀から云へば其管下の地方の開發に努むるばかりでは足らぬ、同時に歷代の總理大臣の頭腦を開拓し議員の頭腦を開拓するといふ餘計な仕事をしなければならぬ程植民政策に關する日本人の智識は貧弱なものである。吾が朝鮮が當路者の誠意一圖の施設經營により斯くの如く面目を改めた事を喜ぶと同時に、吾輩は斯く思ふのである、即ち、朝鮮は臺灣と同樣一律に論ずる事は出來ぬ、朝鮮の農業は相當に進步して居る、併乍ら朝鮮の農業に於て其の產物の大宗は米である日本內地の農產物の大宗も亦米である、して見れば朝鮮は米を主產物とする農業のみを富源と賴ることは

■如何にも不安心

な次第であつて、他に富源の開發を今後に於いて充分期するところあらねばならぬ。鑛山の如き大に有望なる將來を有するといふではないか、素より當局に於て此邊の事は確信もあり方針もある事と思ふ。更に朝鮮の工業に就て吾輩の見るところでは朝鮮には大なる工業、多種類の工業は未だ發達して居らぬが、而かも前に云つた如く工業の素地は立派に備はつて居ると見た、一例を擧げて云へば彼の高麗燒の如き陶器類に於てすら朝鮮人の頭腦は過去に於いて工業的に發達して居つた事が窺び知られる、窯を如何に作るかといふ事は物理の方面である、陶土を如何に捏ね藥を如何に調へるかといふ事は化學の方面である、此の物理と化學の二方面に於て成功した爲めに古雅掬すべき高麗燒なるものが曾て作り出されたではないか、斯の如き素地の上に朝鮮に

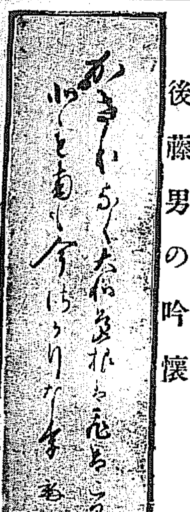
■適當せる工業を

振興し農業の發達と相俟たしむることは朝鮮に於ける產業政策の根本義と云はねばならぬ、要するに今度の共進會は非常なる成功であつて、從來朝鮮が進步して居る事實があるに拘らず少數の人以外に其の眞相が明かでなかつたのを、此の共進會によりて朝鮮內智識階級以下にある多數民衆に―而して彼等が眞相を會得する事は最も必要である所の―多數民衆によく進績を趣味の間に看取することを得しめたと同時に、多數の內地人を招致した事によりて內地人の殖民政策に關する頭腦を多少開發することを得べしと云ふ意味である。そこで吾輩に一首あり、惜うだ

限なく大和島根は廣ごりて
北も南も今さかりなり

ネー、愉快ぢやないか、斯くの如くして今後更に帝國の國威は八方に擴がらねばならぬ。吾人はシーレーの所謂『グレーター・ブリテン』と同樣に『グレーター・ヂヤパン』の實現に努めねばならぬ、滿蒙については言ひたい事は澤山ある、充分調査した上今度逢つたら大に話さう』と語り畢つて男は茶を飲み干し『オイ、莫迦に茶がうまい、モツ一杯與れ』

後藤男の吟懷



共進會は大成功だよ

名士の縱橫談で賑つた五日夜の北行列車

五日の晩に南大門驛を發した安東行急行列車に聯結された特別車の喫煙室で卓を圍んだお歷々、正面に控へたのが例の後藤男、その前にキヨトンとした顏をし乍ら

▲冗談を言つて 居るのが前の滿鐵總裁中村是公氏、その右に殊らな山羊髯をひねつて眼を細くして居るのが白仁民政長官、左方に掛けて居る好い伯父さんが改野滿鐵理事、此の四個の間に共進會觀が持ち出されて夫から夫と話がはづむ、後藤男が『イヤ今度の京城の共進會は成功だよ』と云へば白仁長官が『全く左樣ですね、何しろ內地邊りから彼れ程澤山やつて來たのだから朝鮮の事情もよく解つて結構なことです』横合から改野理事が『內地邊から澤山來た連中は宿屋では困つたでしよう、私は野田の處に泊つたから無關係だが』と云ふのを引き取つて後藤男『さうだ

▲宿屋も混雜し たし、招待した主人側も手の屆かぬ點もあつたらうが、大體今度澤山來たお客の客振りが宜しくなかつたと吾輩は思ふ、何日來たか何處に泊つてどう爲て居るかも知らせずに待遇が惡いとか氣が利かぬなどと云ふ奴は言ふ奴の方が間違つてる、得てして少し豪くなつた人間に限り俺れ程の人物を待遇せぬといふ法があるかなんかと勝手な不平を鳴らしたがるものだよ、能も無いのに納まり返つて家いも無いもんだテ』と一寸改まつて『それはさうと先日慶會樓で催された招待會の時に敬意を表せられて中央に椅子に掛つて居た者があつたのに氣の毒にも蜂須賀侯爵などは立たされて居た、彼んな事は

▲來る客が澤山 でゴタ〳〵して居る間に主人側でもつひ知らずに居たからでもあらうがお客も何日來て何處に居ると知して遣ねば主人側でも困る事と思ふ』話は後藤男が一人で引受けて居る『先日宮殿下が總督府に御出でになつて總督の官邸にも御案內した時に恰度吾輩の厄介になつて居た室の處で誰れか知らんが

此の室にゴロリ 後藤は居候

と狂句つて御說明申上げたなどゝ吾輩をおどしつけたが、マサカ大方山縣あたりの惡戯だらうテ』と身體を搖がして笑ふ。男は愈々調子に乘つて『吾輩は昨日の午前は妙な處にスツ込んで居たよ』と言ひ出すと中村是公氏は一昨日でしよう

▲而かも午後で すナ、イヤ全く午後ですよ』と思はず訂正する男は妙な顏をして『イ、ヤ、昨日の午前さ、村田の家に行つたぢやないか』と主張する、中村氏『アツ、左樣々々、あれは昨日です』と裏書する。さうすると後藤男が妙な處にスツ込んだ事は二度あつてその一度は村田東拓理事の宅とわかつたがあとの一度はハテ何處だらう?夜が益々更けて車內が冷やりして來ると是公氏は『少しうすら寒いですな』と背廣の前を合せる、之を見た後藤男『當り前さ、柄にもない粹がつて素肌にワイシヤツ、素足にズボンなどと是れから滿洲まで濟まして居れるもんか』當る可らざる氣焔を譲んで來はつて居ると男は記者に向つて『君、京城の商人には酷い奴が居るネ、吾輩が或る店で人參エキスを買つたさ、すると釣錢を間違へやがつた上に三個買つた筈のが包みを開けて見ると二個しかなかつたよ、呆れたね』

滔々懸河の雄辯

故市原總裁のエール大學遊學時代

同志社々長 原田神學博士談

市原總裁の葬儀に列す可く來鮮した京都同志社々長原田助氏を水原驛に出迎へたるに語つて曰く、市原君は二十年前の先輩であるが、エールでは一年許り同室に起居して居たこともある、仲々の勉强家で今の大久保大阪府知事なども同級であつた、眞面目な方であつたからして洋行中によくある樣な失敗談はないが、何分英語が一頭地を拔いて居たので、エールのサムナー教授も驚いて居た位である、市原君は御存じの如く同志社の第一期生で卒業と同時に山崎、森田などの人々と共に教授に推薦されたのであるから若い時から異彩を放つて居たのである

▲『ルカの市原』 市原君が熊本英學校の生徒であつた時にゼンス教授が海老名、宮川、小崎、浮田、金森等の人々に向つて其々其人に適當した職業の撰擇を云つて聞かせたことがあつたが市原氏に對しては『醫者になつたらよからう』と云つたさうで以來市原君は聖書の中のルカが醫者であつたものだから自ら稱してルカ市原と云つて居た位である人は境遇を作らずして反つて境遇のために支配される同志社に入つて經濟學の教授を擔當することになつてからは段々と專門的に進んで行つて晚年迄經濟界に身を投じたのである

▲聽衆の喫驚 慥か明治十四年頭と思ふ米國第一の雄辯家ジヨセフ、クック氏が日本に來遊した時に京都で演說會があり市原君は其通譯の任に當つたクック氏は六尺に餘る大男、市原君は五尺にも足らぬ小男であつて此塲の對照頗る珍妙な對照である市原君が椅子の上に上つて通譯し初めるとアノ小ぽけな男がクックの雄辯を通譯し得るかと滿塲冷笑の眼を以て見て居たが、いざ演說が始まつて見ると、クックの滔々たる懸河の千言萬語を寧ろより宜く論理的に通譯したゝめに聽衆は二度喫驚拍手は雷の如く響いて『市原と云ふ人の英語は天才だ』と云はれた位である、其後二十七八年頃にも英國第一流の政治家ロードスペンサー氏の來朝した際にも亦市原氏が通辯の勞を取りペツト、フォード氏の時にも通譯すると云ふ具合に凡て著名な外人の通譯は市原君の口を煩はさずしては出來ないと云ふ位であつたのである、實に惜しいことをしたものだ

マラソン競爭

共進會開期中一大マラソン競爭を行ふべしとは豫て聞く處なりしが協贊會當事者間に於ても略々議熟し目下其筋に對し之れが認可方交涉中にあるやにて競走の順路は總督府前出發南山公園より漢陽公園を經て三坂通りより練兵塲に出で更に兵營前より軍司令部前を横切り漢江通を一直線に停塲內に達する順路を取り決勝點を會塲內東亞煙草會社採照燈臺下となす由

馬賊安東縣の日本街を襲ふ

去る四日午後八時半頃安東縣五番通三丁目四番地居住支那雜貨商陳吉庭(五十)方に拳銃其他の兇器を携へし支那馬賊十名突然闖入し來り主人及び店員等を悉く荒繩にて縛したる後有合せたる寶揚金五百七十餘圓を掠奪何處ともなく逃走したるが急報に依り安東警察署にては非常召集を行ひ直ちに犯人搜査に著手せるも未だ何等の手掛りなし被害者居宅の五番通三丁目と云へば日本市街の中央にて我警察署を距る僅々一二町位に過ぎざる塲所柄なるに而かも八時と云ふ宵口に襲來するとは誠に大膽不敵の賊徒と云ふ可し(安東縣)

火藥庫爆發

去る一日午後十一時三十分忠淸北道永同郡上村面弓村里所在張輔衡所有の火藥庫二棟爆發しダイナマイト四千九百四十八箱雷管千三百十箇導火線四百十五尺悉く燒失せり原因目下取調中なりと

料理飲食店賣揚高

共進會塲內に於ける料理店飲食店の總數は三十軒にして是が開塲以來九月三十日迄の總賣揚金高一萬三千三百十一圓二十三錢に達し之を一日に割當つるときは平均七百圓五十九錢一厘更に一日一戶の割合を見れば平均二十三圓三十五錢に相當せり而して今月に入りては去る一日は總計千百一圓七錢二日は九百六十七圓二十九錢五厘開塲以來の最高額を示したり

放蕩の末自殺

永登浦本町居住成田芳藏(二七)は若氣の至りに驅られ身分不相應の借財嵩じ首も廻はらぬ始末となり生活難の爲め大に悲觀し厭世したる結果兩三日前自宅に於て劇藥重クロム酸を服用して自殺したり急報に依り永登浦署より警官出張檢視の上死體は妻に引渡せり

天勝京城へ向ふ

天勝一行六日朝內地より釜山來著直に汽車に搭乘京城へ向へり六日午後九時入京の筈(釜山特電)

鈴木龜太郎來る

日本一の球突名人

三年前一度來京し李王殿下の御前に於て其妙技を御覽に入れた日本一の球突名人と呼ばるゝ東京日勝亭の鈴木龜太郎は共進會見物旁々六日朝入京し大和町日勝亭支店に入りたり同人は目下所々漫遊中にて之より大連を經て香港上海等へ赴く豫定なるが其技倆は先年より數段進步し先日門司にて一捧に五千點を突切り非常の喝采を博したりと

奈良丸日延べ

吉田奈良丸一行は大入りのため日延し六日七日の兩夜有樂館にて興行すと

▲急告!!

■來る八日より本舘特撰の活動寫眞興行開始內容は明夕刊を見られよ

本町壹丁目 三越吳服店前 百三十銀行横 有樂舘 電話二六六番

木津無庵師講演

大典待受消息披露を兼ね共進會協贊講演の爲め入京せし大谷派佛陀會長木津無庵師は六日より八日に至る每日午後一時及び夜八時の二回南山本願寺に於て右の講演あるべく六日夜の講演は『佛敎徒の處世法』なりと

原鹽ご再製鹽

商況

新株上向 日本郵船 東株第一 九五、〇〇 九四、九〇

大阪三品特電

天氣 十月六日 曇り後晴れ

和洋ストーブ一式 煙突製造ストーブ 据付、板硝子 ペイント塗料

京城本町二丁目 岩見伊勢松商店 長電話二一三番

新學期 女子大學通信教育會誌 家政講義 大募集

○學科○修身敎育心理法制經濟衞生家事作法料理裁縫生花園藝其他 ○入會金免除○會則見本無代進呈

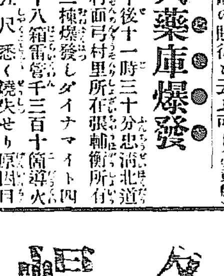
東京小石川目白臺 女子大學通信敎育會 京神田區猿樂町 精美堂出版部

名產 平壤栗大販賣

右御小賣共破天荒の勉强可仕候間陸續御下命の程希上候勢店へ御來談御照會被下候はゞ如何樣にも御滿足を與へ精々御便宜御取扱可申上候敬白

平壤新倉里四十三番地 萬穀物類 果物類 問屋 朴承德 電 次一三番

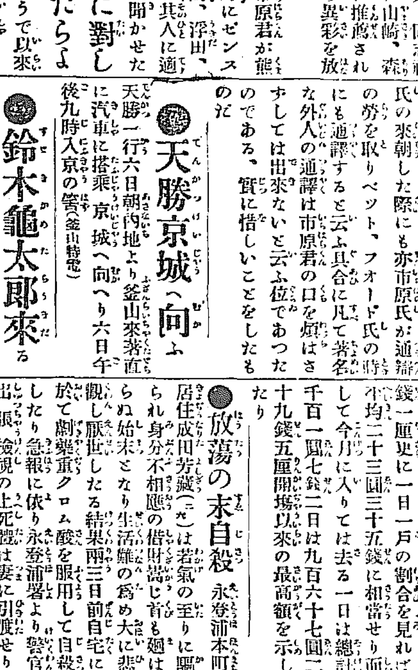
冬帽 新着



東京一橋 田村帽子店 電京二七一番

露西亞物產雜貨一式 歐米洋酒食料品 北鮮產石鍋石器類

元山府仲町 西澤商店 電話四六四 振替京城二七四九



酒精アルコール

手印最上等品及(K)印爪哇產格安品各種新荷著取揃居候間御照會次第特別勉强直段御通知可申候

酒精直輸入一手發賣元 仁川京町(振替口座京城六八番) 鬼頭兼次郎商店

入院隨意 泌尿生殖器科 皮膚花柳科 外科

京城永樂町二丁目(金光教會隣) 安部醫院 電話四一九番 診察時間午後九時迄 院主 安部修三

朝鮮から得た印象

宮中顧問官 長崎省吾氏談

宮殿下を奉送し五日午後八時三十分連絡船高麗丸にて歸東せる長崎宮中顧問官は連絡船上に於て本社釜山支局記者に語る

▲朝鮮から得た印象それは實に種々樣々である第一面白く感じたのは釜山に上陸した時の一刹那に自分は何んとなく埃及に來た樣な心持がして爲らなかつた山の具合や棧橋や驛や稅關などの建物それからあの棧橋の出口に並んで居る賣店の風がどうしても埃及風であるお負けにその店頭にはパインアップルやらバナナやら土耳古葉巻等が並べて在るではないかどうしても赤道近い南半球の一港灣に著いた時の感じがしたあれでデコラと云ふ南歐人の好む菓子が並へて有つたらばと思つた

▲汽車に乘つて 見ると廣軌と云ふのが吾等に快感を與へる事は勿論であるがそればかりではない列車內の化粧室などの中に備へて在る器具は何れも新らしい心持の快いものばかりだそれと列車內のボーイが非常に氣の利いて居る事は如何にも乘客として滿足を得たそれから列車の食堂の料理が純英國式で在つて內地あたりでも一寸味ふ事の出來ぬ物が多い又釜山鐵道ホテルで總督の午餐が有つたが之れ亦非常に結構なものであつた

▲共進會は多忙 の爲め餘り詳しくは見なかつたしかし一二回行つた自分は常に觀覽者の多數が朝鮮人である事を悅ばしく思つて彼等が如何なる感想を抱きて共進會を見るかに就て觀察した彼等が農業漁業山林工業等に就て如何に驚異の眼を輝かしつゝあるかは一見して分る彼等は此の共進會に由つて彼我共に曾て豫想以上の新智識を得た併せて將來の統治に非常なる好影響を爲し發展を促進するの素地を養ふ事は大なるものであらう

▲御社の家庭博 も拜見せり家庭博は東京にて德富さんの案內で見せて貰ひ今の首相や松方侯など一緒に參り演說などもしました家庭に對する進步改善の思潮は近時の穩健なる新思想である德富さんが茲に著眼せられ率先して家庭の爲に此種大規模の博覽會を開かれた慧眼達識には敬服の外はない殊に殖民地の京城に於て之れを開かる內地人朝鮮人共に之に傚ひ之に學び得る處の至大なるは言を俟たない私は御社の家庭博が其の形の成功よりも其の社會一般に與へたる非常なる好果の上より見て一大成功として祝福せざるを得ない次第である

寧遠救恤申請 被害區域五十四ケ洞里

寧遠郡水害罹災民救助に就いては豫て道當局に於て調査中なりしが愈此程結了目下恩賜罹災救助基金の支出申請中なるが其被害區域は九面五十四洞里に亘り炊出小屋掛食料等救助額總計三千六百九十餘圓の豫定にて曾つて非常の大水害とせられたる明治四十四年の時すら國庫の支出は二千七百餘圓に過ぎざりしに照すも如何に今回の災害が大なりしかを想見し得べし

江西二炭鑛近況

平南江西郡東津面双鶴洞㳕次面梅石洞二箇所の採炭狀況を聞くに兩者共今尚ほ所謂試掘時代を脫せず前者(仁川山手通り加藤藤太郎經營)は寺洞炭鑛と炭質を同うし將來最も有望なりと稱し目下事務員內地人三名坑夫鮮人二十名を使役し一日平均四噸を採掘し居れり。後者(平壤大和町荒木藤吉經營)は昨年五月より試掘に著手し今日迄に僅々四五十噸に過ぎず目下內地人二名鮮人數名をして七箇所より採掘せしめ居れるが炭質思はしからず且鑛脈絕ち或は縱橫に屈曲する等今の處採鑛困難なりと

花月に於ける野河農相の歡迎會

官民聯合の河野農相歡迎會は五日午後六時花月の大廣間に於て行はる會する者主客合せて百三十餘名、十數名の美妓酒間を斡旋して盛況を極む、軈て宴酣なるの頃國分司法部長官は主人側を代表して遠來の勞を謝し、河野農相立つて『廿有餘年來復再び朝鮮の土を踏み長足の進步に驚けり。殊に今回の共進會を視察して一層此感あり之れ全く當局に臨まれたる官民有志諸君が苦心經營の結果に外ならざるべし朝鮮の開發は將來にあり、今後益奮勵を望む』と述べて答辭と爲し主客十二分の歡を盡して九時散會したり

(向て右四人目農相)

鳥井龍造氏來淸

鳥井龍造氏は四日正午來淸淸州近郊の古跡鐵檀石橋塔洞東公園等を視察同所にて唐草模樣なる三國時代の古瓦の破片を得午後淸州警察署にて普通鮮人二十名及び白丁二十名に就き測定を爲し六日永同に向つて出發せり同氏の旅程は永同報恩を經て俗離山を調査し十日再び淸州に入り鎭川陰城に出で槐山より十三日忠州に至り丹陽堤川より江原道に出る筈なるが地形上より見たる忠北は錦江漢江洛東江等何れも其源を此所に發し從つて往昔の交通は便を缺き殊に滿洲型の北方鮮人と南海岸に碁布せるエックス型鮮人との中間に位せるが爲比較的純粹なる鮮人型の人種を發見し得るならんと期待し居れり

忠北道長官奉送

鈴木忠北道長官は櫻井警務部長と共に御歸途中閑院宮殿下を秋風嶺迄奉送六日歸廳せり

忠北校長會議

忠淸北道にては十一日より十三日迄小學校長會議を十三日より十五日迄普通學校長會議を淸州に開き會議終了後各校長打連れて共進會觀覽に赴く可しと

石拔唐箕發明

考案者は戶田春藏氏

米穀の夾雜物いかにせば完全に除き得るかは我が農界に於ける多年の懸案なりしが總督府勸業模範場東拓を始め農事當局者が多年の研究の結果漸く好成績を得るに至れるも未だ時間及び從業人員の節減てふ經濟的方面に於て一般農民に實施し能はざるの憾みありしが今回京城に於て多年農器具の製作販賣に從事し傍ら其改良に力を盡しつゝありし三輪舍戶田春藏氏が研究の結果新に完全なる石拔唐箕を發明新案特許の登錄を得たり今該器の構造を聞くに從來の唐箕にては往々漏斗口に穀粒の停留するを防ぎ得たり今該器なる裝置によりて萬遍なく落下せしめ調節器なる裝置は其の落口にある扇車起風の强弱により穀粒落下の位置任意前後に變更して篩は左右に振動するを以て小石砂稗碎米等の夾雜物をも容易に選別するを得るといふ加ふるに從業人員は從來の半數に節減せられ所要時間を短縮せられ亦價格に於ても從來の石拔唐箕と大差なく本器を用ゆれば萬石唐箕使用の必要なきが故に此點より言ふも頗る經濟的の良器なりと因に該器は共進會に出陳しありと

連絡船上陸客

五日午前入港高麗丸一二等乘客

一等(六名)金子圭助、淺見忠次、前田秀貫、外人二名、二等(七十四名)小松原英太郎、木保太郎、岸本正雄、三浦顯藏、鈴木孝、岩田恭次郎、今井悅次郎、松岡源六、同みつ、濱田泰藏、同俊次、濱田長次郎、坂口いの、同虎吉、關屋忠正、同まよ、同みち、同博、同壽雄、同とよ、山田鐵二、橋本國七、角田四郎、米澤藤吉、早乙女忠國、神谷文吉、內藤正藏、井上慶吉、深田鐵三、前野すみゑ、北尾錄之助、小林與三郎、同ふじゑ、五島まさ、瀨戶文吉、山浦勝馬、柴尾文太郎、江崎幸太郎、野々上榮藏、小松崎亮太郎、渡邊五兵衞、三苫誠吉、戶川直、三島藤太、山內剛、高原善造、長坂喜作、松田政藏、松隈米造、松隈半三郎、宇佐元緖、小川銕讓、奥村英太郎、大勝太郎、宇佐元緖、水野清藏、吉村萬太郎、大熊達次郎、久保豊四郎、堀勇助、渡邊牛次郎、眞鍋甚三郎、下澤善右衞門、下澤善五郎、三宅島城十郎、鵜島峰太郎、寺田靜男、高木喜七、納屋早吉、伊佐甚太郎、倉成久米吉、井原惣右衞門、石塚猶次郎、大野寛、門司儀壯、山崎淸五郎、渡邊與三、多久晁作、三峠(二百十名)

五日午後壹岐丸一二等乘客

一等(十二名)關口高次、同ゑつ、淺見又藏、都倉鐵一、安中珠一郎、辻元謙之助、原田助田村藤兵衞、秋田太吉、森屋市右衞門、外人二名、二等(十四名)小見覺、磯村武經、稲外山源太、鈴木龜太郎、高藤萬次郎、德田牛次德田かれ、同秀己、大津機吉、小原宗太郎、小山保則、松山貞二、同みどり、横山利藏、三等(七十九名)

演藝案內

壽館 電話一〇五〇番 町
東京落語歌舞音曲々藝桂三木助一行 十月五日より晴雨に不拘每日午後六時開演 桂三木、柳朝助、桂三之助、三遊亭小圓遊、三遊亭右朝、古今亭信之助、桂三木助 大切に御樂屋總出演を以て御高覽に供し候 共進會を祝する爲め入場料 一等三十錢、二等二十錢、三等十錢

世界館 黃金町 電話一四三四 ▲世界的大魔術 ▲松旭齋天洋師出演 ▲毎日午後七時開演 ▲共進會特別興行 土曜、日曜は正午開演

御成座 御成町 電話一二九一 第二十五回替藝題 未來の話號 新劇ファースト十番地 全二場 全七場 ...

黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七 **龍光館** 龍山停車場前 電話(龍山)四一番 當十月三日より寫眞全部差換 ...

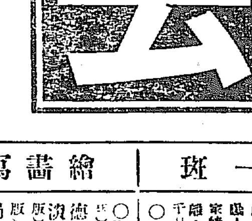
佐久良座 龍山 ○十月六日(十九日目) 假名手本忠臣藏 大序より大詰迄 入場料 二十五錢均一

大正館 櫻井町 電話八七三番 ...

浪花館 明治町 電話二六〇番 ○いよ／＼四日より特別大興行 東京落語大一座桂小南一行 ...

有樂館 本町 電話二六六一 新築落成 ▲大割引いよ／＼本日限り ▲七日目奈良丸の讀物 ▲勝田新左衞門 ▲大石妻子別れ ...

新着 ノル式片側懐中時計



機械堅牢示針正確體裁優美然も實用的にして價格の低廉なる事天下無比

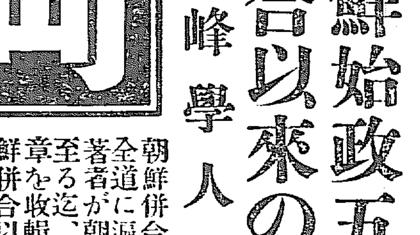
側 一圓九十錢 鐵 同 二圓八十錢 ニッケル側 同 二圓六十錢 同 側時計 鎖付 五圓二十錢 同(機械表示) 三圓九十錢 同 八圓五十錢 同 十圓五十錢 銀鍍金(調刻蓋) 八圓五十錢 銀 鍍金調刻兩蓋 八圓二十錢 同 十六圓八十錢 同(銀七寶) 廿三圓八十錢 同(バリ時計) 十一圓八十錢 同(十年保險) 十八圓 同 二十二圓五十錢 金 十八金 百五十五圓 同 百五十圓

右は小包郵便にて御送料申上候 取扱居り候 時計蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國貨直輸入商 イングレッソー商會 本店 京城本町二丁目電話九七二番

優等清酒 一鶴 京城本町五丁目電話六五四番 本莊酒店

賴戶皮膚科 外科醫院 旭町二丁目(舊三丁目) 醫學士 瀨戶潔 診察夜九時まで (電話二四九八番)

胃腸最新藥 チヂスチン 六十三ヶ國專賣特許 歐米



胃腸病患、食慾不進、熱病後の恢復期、營養補給の目的にて固の病患小兒の保健に賞用せらる。常用すれば血液を增し精力を盛んにす、

東京本町 合資會社 開城商會

兩京去留誌

朝鮮始政五年の絕好記念 併合以來の側面史的著述

蘇峰學人著 平福百穗、山下鈎、鶴田櫟村 柳田謙吉、前川千帆(五氏畫)

朝鮮併合以來本年は恰も其の五周年に當り、皇化全道に遍くして鷄林の山河面目を一新す。本書は著者が朝鮮併合(明治四十三年九月)より今年夏に至る迄、屢ゝ東京、京城間往來の際に成りたる文章を收輯したるものにして、亦た一面に於ける朝鮮併合以來の側面史と稱するも過當にあらず。著者の兩京間を往來するや其の幾回なるかを知らず。而も其の往來每に感興愈ゝ新鮮にして、其のより其の所なり。秀警の觀察と獨特の靈筆を揮つて兩京間の天然と人事を敍するや、雲烟飛動し人物躍如たるもの固より其の所なり。而して記する所單に兩京に止らず、或は途中過眼の光景を記し或は觸目の偶感を敍す。不用意の文字眞情流露し、而も簡淨陳岩小品の妙を極む。特に『雲養集を讀む』の一文は、朝鮮の碩儒金允植子の人物と文藻を解剖して剩す所なく、『朝鮮統治の要義』は五十頁に亙る長文にして、著者の朝鮮統治に對する經綸を吐露して萬丈の光焰を揚ぐ。加之、平福百穗氏を初め諸畫伯の繪畫は皆實境に臨んで描く所に係り、咄々眞に逼るの妙あり。其他各地の風景、名流の筆蹟等悉く本書の爲に特に撮影し、若しくは著者の爲に特に揮毫せられたるものにして、凡て三十二葉の多きに上り、製版印刷倶に異曲同巧の出來榮を呈し、著者の文章と對照して興味津々たり。裝釘は總クロース上製となし、表紙に朝鮮の古甕を打出し、表題は金文字を以て唐太宗帝書の古拓本より抽出したるものを用ふ。體裁淸雅高尙にして眞に几上の淸賞に堪へたり。今や節新秋に入りて燈火親しむ可し、請ふ幸ひに愛讀を賜へ。

記事內容一斑

○沿道所見 新橋より京城(一…七)○短信三片 途中浜涵の諸友▲朝鮮府の好天氣▲今朝秋色滿南山○朝鮮各地の觀察○秋晴一百五十里 光景の一轉化▲六甲山腰の理想郷▲楓葉猶ほ青し▲奈良一日の游遊▲京坂愛宕塵より萬月掃衣堅▲北漢山に上るの記(一…三)▲石水亭の雅會▲深秋の慶會樓▲勤南郡一部開通▲京元線の試乘○一路寒風吹螢霜 愛宕嶽より路上▲路島開より▲山陽道中▲京都より○一年兩度の櫻花 飛脚入路▲馬關直行▲連絡船中より▲釜山より京城▲一年間度の櫻花▲傳習員の新所▲前中の大運動會▲内地化したる新義▲金山より大阪▲六甲山と芽沼○一年の好季節 母牧と東山▲桃山御陵參拜▲汽車中の立錐▲一年の好季節▲十三日夜の總督邸▲奉京間の愉遊▲海峽航行中より○愛宕嶽雜信○訪人訪書の旅行 最上の小春日和▲仁王山と相對す▲余第一行と溜道▲清涼里に遊ぶ▲昌德宮の秋色▲龍山陸間の補習▲迷空先生と論查▲仁川沖魚あの記▲佛陀寺の神苑▲部々帝室の職▲京城に於ける天長節▲仁王山一周の記▲東籍學の大家▲明治天皇記念日▲十一月三日の夜▲松隱山莊の招待▲小宮氏の略傳▲寂光の誰帖▲開城に遊ぶの記▲山南道中の紅葉▲六甲山より京都▲時雨の一日▲發行的親個記▲訪書淡記▲往來二千里 京城雜信(其一)▲同(其二)▲同(其三)▲朝鮮人日記▲漢江の鳥と人○双京幾往還 隨處生年▲太豫亭▲朴子爵邸午宴▲朝家の別人時○往來二千日 炎珠大觀▲北斯參の家書▲宮島より京城▲政敵騷疑▲學者の京城▲送別より人▲闡中の苦行▲李處賣行の時▲高麗板大藏經▲往來二千日▲明鳴國歌碑吟○愛宕處記(李朝金允植記)○雲養集を讀む(一…三)○朝鮮統治の要義(一…八)合計十五篇一百〇三章二百七十四頁

繪畫寫眞目次

○海峽航行中の著者(三色版)○在慶州新羅武烈大王陵碑龜趺(寫眞版)○北漢山(ジンク版)○洗劍亭(ジンク版)○漢江(ジンク版)○子爵尹德榮氏別墅碧樹山莊より南山を望む(三色版)○愛宕嶽に於ける冷泉の生活(寫眞版)○昌德宮秘苑(木版)○山縣總監の自書自贊(寫眞版)○朝鮮街(木版)○明石中將の自書自贊(寫眞版)○鮮人の天長節(ジンク版)○京城獨立門畔城壁上の大銀杏樹(寫眞版)○獨立門外廢寺の五輪塔と著者(寫眞版)○諸名流筆蹟(寫眞版)○鮮人の家屋(寫眞版)○鮮人の船(寫眞版)○麻浦(ジンク版)○野田大塊翁の自畫自贊(寫眞版)○愛宕處同人庭前の小集(寫眞版)○子爵金允植氏の德富氏送序の筆蹟(寫眞版)○故伊藤公自筆南山脚下の詩(寫眞版)○朝鮮總督官邸に於ける寺內伯(寫眞版)○寺內伯書故伊藤公南山脚下の詩及び跋語(寫眞版)○寺內伯書和歌(寫眞版)○寺內伯書鴨綠江鐵橋落成の詩(寫眞版)○寺內伯書早發の詩(寫眞版)○寺內伯書慶州懷古及び乙卯誕辰の詩(寫眞版)合計三十二種

總クロース上製函入 定價金壹圓五拾錢 郵稅本社負擔

賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

東京株式特電 六日前場 大引 日本郵船 九六、七〇 九六、六〇 日韓瓦斯 ... 韓國瓦斯 ... 一二一、九〇 一二三、〇〇 寄付 高値
東京期米特電 六日前場 十二月限 寄付 二二、〇四 二二、〇五
仁川期米 六日前場 ... 仁川在米特電 ...
大阪株式特電 十一月限 ... 十二月限 ... 三月限 ...
下關期米特電 六日前場 ...
仁川現物市場 ...
豫報 京城測候所 ...

越後大評定

第五席　早川貞水口演

お萬の懐胎

さて二月三月は何でも隠せたが、早や五月の岩田帶になり、漸大御殿の評判たかく○『ちよいと皐月さん』皐『紅梅さん何事でムいます』○『どうも不思議でムいますよ』皐『何事が不思議でムいます』○『あの御湯殿に居ります萬でムいますが、近頃御腹が大きいのでムいます』皐『アラマア！、何うしたのでムいませう』御風呂番をして居りまして、一番後で御風呂を戴き、私共より綺麗りして居りますから湯屁でも致したのでムいませう』○『どうして貴方御腹ばかり後様に肥ろ理由がムいませぬ、大層大きいのでムいます、マアあの姿の好いのが御腹が大きいから、大層眼に著きます』皐『オヤ／＼左様でムいますか』○『對手がないのに、御腹が大きく爲る理由がないぢやムいませぬか』皐『本統でムいます、男氣のない此築山御殿で、それぢや御腹が大きく爲つたのでムいませいで、脹滿ぢやムいませぬか』皐『然うぢやムいませぬ』漸次噂を致しますのが、築山御前の御耳に入り、老女松岡に申し付けられ　勢『萬の身の上を取調べたら宜からう』松『ハイ、畏まりました』此處で醫者を呼んで診察させる、醫者は嘘は言へないから『懐姙いたして居ります』と申上げる『さて／＼御上が御風呂を召れた時、萬一彼に御手でも著いたのではないか』と嫉妬深き所の築山御前、老女松岡に申し付け『萬を呼び出し其對手を取調べよ』との仰せ、時は十一月末つ頃、雪のごん／＼降つて居ります日に、萬を御廊下に召されましたから、何事であらうと、恐る／＼兩袖を以て其懐姙を隠し、優雅に出て、御廊下へ伏たり坐つた、正面遥に築山御前御傍には老女松岡、皐月、紅梅、葉瀬はじめとして、多くの御女中、ずーつと並んで居る、傍に老女松岡進み出で　松『コレ萬や』萬『ハイ』松『其身は見れば大層御腹が大きいが、何うして其やうな姿に爲りましたのか』萬『ハイ恐れ入りましたが、是れが私しの病氣でムいまして』松『イエ、さう云ふことはない、先頃御醫者より申し出たのは其身は懐姙いたし居るとのこと、コレ、何者の胤を宿した、在り體に白狀いたして宜からう、此の所に於いて、斯う／＼云ふ者と不義いたしたとあれば、又御主君の御慈悲もある、不義は御家の法度とは素より御奉公に出づる時、承知いたし居る筈なり、御殿で隠し男を拵へたとあつては、其身は申譯があるまい、サア申したら宜からう』傍から意地の悪い御女中が　甲『お萬殿、申し上げた方が宜しう御坐いませう』乙『お萬殿、はやく申し上げなさい』萬『イエ私は左様な事は、一向に御坐いませぬ』松『イエ、然うではない、強情ふさ痛い思ひをさせます』甲『御老女様、如何で御坐いませう、言はせるやうに抓つてやりませう……』サア申し上げないとあれば、斯うします、キューッ　萬『何卒御赦し遊ばして』甲『痛ければ申し上げた方が宜からう』乙『貴方より私の方が指に力がありますから、私が抓りませう……』萬や申し上げないと、斯うですよ』キューッ、釘拔のやうな、恐ろしい爪のある指で抓り上げる　萬『アレー御赦し下さい、私は一向覺えにムいませぬ』松『サア男氣のない此御殿で、何者と不義いたしたか白狀いたせ……』[illegible]　萬『[illegible]』と築山御前『コリヤ老女手緩い、其身が言はしてやるが宜しい、言はぬとあらば裸體にして、縛るが宜しい』松『サア御主君の御諚だ、言はぬとあれば裸體にする』萬『アレーッ御赦し遊ばして』松『イヤ懐姙であるか病氣であるか、裸體にして見届ける』

本場　ちゞみ銘仙　新荷着

京城本町二　ちまぶや　電話八九〇番　振替三〇二番

皮徽科

皮膚病　徽毒病　淋病　膀胱病　生殖器病　機能障碍

入院隨意（診察夜九時迄）日曜祭日午後二時迄

京城明治町二丁目（元日館）佐藤醫院（電話一一七三番）

十月八日九星　舊八月三十日壬申　本命七赤　西　開　先勝

▲七赤 [illegible] ▲八白 [illegible] ▲九紫 [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黑 [illegible] ▲三碧 [illegible] ▲四綠 [illegible] ▲五黄 [illegible] ▲六白 [illegible]

わきが　治癒　新劑

■わきがは良縁出世交際を妨げ人に不快を感ぜしむ即刻治療あれ

■清液散は理化學上研究の一大發見劑故奏効確實に的面也諸藥の効なく困難の人は一直試み給へ　重症用一圓卅錢　輕症用八拾錢　特製二圓半　送料各四錢郵券不可　若し直送す　本家…名古屋廣小路通…小林盛大堂

月やく　流經新藥レスノリン

とまり四五ヶ月以内に効果現はれ其流經作てきめんに一用の離習なる他藥に優越す◎藥價一瓶壹圓送費三十錢切手一割增　書留切手封入申越次第説明

大阪市北區曾根崎上一丁目三六　發行所　常盤藥院　振替大阪二八三七〇番

香油以上の美髪料

東京の貴婦人令嬢紳士間に頗る高評

ホーカー美髪液

ホーカー美髪液の特効

艶々とした黑髪となる　生へ際が好くなる　拔毛枯毛を防ぐ　毛髪を柔軟にする　クセ毛縮れ毛がなほる　結らずに何時もサラ／＼とし　頭垢が出なくなる　逆上ることがない　毛髪の發育をたすける　香水の代用となる

定價一瓶三十五錢

到る所の有名なる小間物店にあり若し品切の節は三錢郵券十四枚封入本舗へ御申込あれば直送す

東京で一番よく賣れる美髪劑

東京　ホーカー液本舗　堀越嘉太郎商店

御両親に奉る書

ライオン齒磨本舗　小林富次郎

陛下益々御清康の段奉賀上候、さて幣舗儀二十有餘年の昔より斯業に就き深く江湖に感謝するものあると共に、亦陛下が御存に適はざる可からざるものあるを確信し、我國民の通患たる齒牙衛生の爲め、最も純良なるライオン齒磨を提供する外、一昨年來ライオン講演會なるものを組織し、嘗に東京府下を始め、東北、山陽、九州、四國地方の一部諸縣の小中學校、高等女學校、會社、工場等に於て齒牙口腔衛生の講演を爲し、專ら此思想の普及發達に努め、幸に識者諸君の激賞を給はる所となり、到る處意外の歡迎を受け居る次第に御座候。然も斯くの如き擧は其目的の高尚なると同時に、其趣旨の貫徹も亦頗る困難なるものあり、ライオン講演會のみ獨り大聲疾呼するも尚ほ有力なる各御家庭の御同情なくんば、其目的の大部分は遂げ難きを覺ね候。竊に思ふに御家庭に於ける令息令孃は朝夕及び食後寢前に於て必ず齒牙口腔の衛生を守り給ふや、又齒科大家齒科醫諸氏が齒磨中最も完全優良なるものとして推奬せらるるライオン齒磨を用ゐ給ふや、乍恐奉伺上度、不幸今日の統計に據れば全國少年兒童の齒牙疾患に罹れるものは實に其十の八九に上ると云ふもの。これ豈に寒心す可き危殆の現象に候はずや。試みに一例として最近東京市に於ける小學兒童齲齒檢査成績を取つて見るも、此事實は否定すべくもあらずと存候而して此狀態は日本全國如何なる地方に到るも大同小異にして、悉く戰慄す可き數字を示し居り候。

大正三年三月東京齒科醫學專門學校に於て、東京市内六ヶ所の小學校兒童の齒牙に於ける齲蝕症蔓延の狀態を調査せしに其の成績次の如し。（川上齒科醫調査）

檢査總人員	4,613人	男	2,430
		女	2,183
齒牙發生總數	108,661本	男	56,534（一名平均23本）
		女	52,127（一名平均24本）
齲齒總數	18,527本	男	9,985（一名平均4本）
		女	8,542（一名平均3本）

兒童の年齢は、七歳乃至十二歳のもの、最も多數を占め、十三歳乃至十四歳のものは百數十名、十五歳のもの十數名ありたり。從て、兒童一名の發生齒數は、乳齒の總數二十本に第一大臼齒（六歳臼齒）四本を加へたる二十四本にして、大多數は未だ第二大臼齒の發生を見ざるものとす。而して齲齒數は齒牙發生數に對し、一七％を示し、男女共に發生齒數一名二十三本乃至二十四本の中、約四本の齲齒を有す。

即ち齲齒を有せざる者一人もなき割合なり。

若し斯くの如き狀態にして進まむか、兒童の心身は愈々害せられ、其體育と學業とは如何なる惡影響を被らむも知る可からず、殊に婦女子に在りては、あたら天禀の美容を損し、終生の悔を貽すものも尠からざる譯に御座候、然も一般大人にして食物消化の機能十分ならず營養不良に陷れる者の多くは、即ち兒童期に於て口腔衛生を顧みざりし結果なるを思へば、如何に各家庭に於て兒童に對する齒科衛生の緊要なるかを知るべしと存候。

全く以上の次第に候へば、齲齒の少年兒童を犯せるは洵に國民の危機として御洞察を給はりたく、隨つて各御家庭に於ける齒科衛生に對する特別の御注意、又は適當の御施設ありて、弊舗のライオン講演會を起し、汲汲齒科衛生の普及に勗めつつあるを御諒察ありて何分の御同情と御援助とを給はり候はば啻に弊舗の幸福のみならずと奉存候。

謹言。

尚ほ右に對し御同感の各位の中、既に齒科衛生の爲め御實行の方法にして特に効果ありと認められたるもの、又は斯くすればよからむとの御意見有之候方は、何卒弊舗宛御高示願上度、弊舗は御高示に由りて國民の齒科衛生が必ず一段の進歩を計り得るに至るべきを信して疑はず候。

京城正米

[illegible]

市場の齒觀

[illegible]

仁川米豆取引所

[illegible]

京城日報
年中無休刊
（第二千九百三號）
定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金八十錢 郵税共
廣告料 五號活字一行金 … 二號活字 …
發行兼編輯人 奥田直
印刷人 谷口政太郎
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話 編輯用 … 營業用 … 振替貯金口座京城三〇〇番

朝鮮開發の五年

五 財政と金融（十）

金融機關の發達

△普通業務 朝鮮銀行（續き）

朝鮮銀行が營む業務の種類中政府の許可を俟たざるものあり即ち爲替手形其他商業手形の割引、平常取引する諸會社又は商人の爲替手形金の取立、爲替及び荷爲替、確實なる擔保貸付、諸預り金及び當座貸越勘定、金銀貨貴金屬及び諸證券の保護預り、地金銀の賣買及び兩替の交換、國債證券地方債券其他確實なる債券の賣買、政府の指定する官廳公共團體に對する無擔保貸付等にして又認可を受けて營み得る業務には公共團體に對する無擔保貸付、他銀行の業務代理等あり、而して預金、貸出、爲替、地金銀賣買、保護預り、他銀行業務代理及び金銀出納等の業務は銀行普通の業務に屬するものとす。

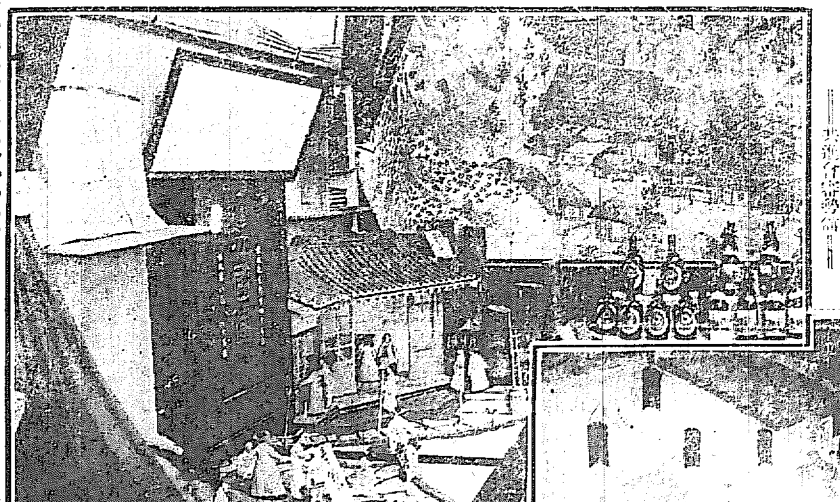
朝鮮の預金業務は鮮人の貯金思想乏しかりしに由り其發達遲々たるものありしが逐年相當の成績を擧げ明治四十三年以降に於ける鮮銀の預金の消長を見るに二箇年にして倍加し四箇年にして約四倍せり。同行の普通貸出業務は之を預金に比する時は稍良好なる成績を擧げ四十三年上半季に二百八十三萬餘圓に過ぎざりし貸出金は大正三年下半季には二千百三十二萬餘圓に達し實に八倍三分餘の增加を示せり而して同行が朝鮮に於ける中央金融機關として同業者に對する貸出に付ては特別の便宜を圖り其活動と相俟て常に朝鮮金融の調節に盡したるは改めて言ふを俟たず又產業の獎勵は朝鮮に於ける焦眉の急務にして政府の最も留意するところなるを以て同行は其趣旨を奉じ其開發に寄與すべきを期し特に輸移出品に對する資金の貸出に就ては事情の許す限り便宜を附與し來りしが一方產額の增加と共に該貸出は著しく增進を示すに至れり。

殖民地に於て金利の高率なるは東西其軌を一にすと雖も是れ其地の產業開發上一大障碍たるは言を俟たざる所にして同行は創立以來朝鮮に於ける一般金利の低落を以て一大目的と爲し、努めて利率を低位に保ちしが故に朝鮮一般市場金利に影響を及ぼして同行設立の前後とは金利の差著しきものあり。此他鮮銀の業務に就ては概說せんと欲するも本稿の先きを急ぐが爲めに之を略し但だ同行の調査事務と營業の成績とに就て簡叙すべし。

大共進會 出品概觀（六）

△審勢館（忠南）

中央の壁上には米を繞りて作れる大小二個の假山あり、大なる山は改良米、小なる山は在來米より成り併合當時と今日との米產額を比較し併せて品質改良の實績を示せり、其山麓には鐵道を敷き汽車を用ひて米の輸出狀況を寫し尚各等道路の改修成績を示せる面白き趣向あり、之れ等に標示されたる數字を按するに米は當初の產額百萬石なりしもの今日に於ては百四十萬石に上り輸移出額四十萬石を算せり、又改修道路の里程は一等道路十七里、二等道路六十五里、三等道路二百四里、等外道路百四十四里に及べり尚閣の戸棚を一瞥するに正面には本道の六大產業たる米作、養蠶、畜產、工業、水產、林業に關する將來の方針並に現下の施設綱領を表示し背景は油繪を以て是等產業の舊時と現在の狀態とを描き、其下部には有名なる韓山の苧布、藍浦の石細工器及び各種の農產、水產成績品を陳列し、中央には始政當時に於ける道の總生產三千五百萬圓なりしもの現時に在りては四千二百萬圓の激增を示せる額を掲ぐ、棚の兩側には公州市街現時の模型を置き往時の寫眞を掲げて兩者を對照せしめ、道路圖の下には貨物模型を以て運搬の進歩を表はせる外、堤防修築の統計には溜池の修築既に百個所を數へ其灌漑面積五百町歩に躍進し勤儉貯蓄の圖表には明治四十三年の貯金額三十九萬圓其人員一萬五千人なりしもの大正三年には貯金總額八十四萬圓其人員十七萬五千人に增加せるを示せり、東側の戸棚には面事務所の新舊模型を置きて執務の狀況を比較對照し之れに次ぐ教育統計の下方には學校教育の手に成れる學校分布狀況並に溫陽公立普通學校の全景を表はせる二箇の模型と生徒の手工品とを陳列して教育の普及と其進展の狀態を示せり



（上）忠清南道事務所 （下）同道六大產業 ——共進會審勢館——

閑餘隨録

大谷光瑞

二、讀書（承前）

讀書の利是を大にして上濟世佐命の大略より下修身齊家の道に至るまで此によらざるなく人智の至らんとする所は是を指導して能はざるなし人既に生れながら賢不肖の別あり賢者は書を讀みて更に能を加へ不肖者は書を讀みて身に愚を免る天授に一任して書を讀むを忘るべからず書を讀まざるべからず書を讀みて悔るもの未だ之有らざるなり古來元帝あり幼より書を好み讀書數萬卷帝位に登るに至て猶息まず自から書を著すもの又數百卷あり金樓子と名くる書今猶世に行はる而して魏師の圍を受くるや江陵遂に陷り身降虜となる彼戰敗れ降らんとするや藏書十四萬卷を燒き劍を拔て柱を斫り曰く文武の道此に盡く又曰く讀書萬卷猶今日有りと魏の殺す所となる讀書の功彼の敗滅を救ふ能はざるか讀書の道を說き而も亦終身不遇の嘆あり然れども彼れ是れと同じからず孔子聖匹夫なり元帝は君主なり孔子總かも尊の器を聞くと雖も少詩の時間を有するに過ぎず而して上に諸侯あり加ふるに三桓あり其力を用ゐんとするも隔礙甚だ多し尚齊國は其國なり之を用ゆるも限りあり若し孔子をして齊若くは秦若の侯たらしめば決して不遇を嘆ぜず其治績亦何ぞ管仲の比に非ざるは論を俟たず孔子の聖なりと雖も人に依るに非ざれば功を奏する能はず且に治國平天下を說くと雖も其道は王者にならざれば行ふ能はず國長にして之を爲さんと欲するも得べからず故に結歸する所は修身齊家に過ぎず元帝は然らず身帝王たり能はざるなし彼若し聖賢たらば何ぞ坐して制を人に受けんや彼若文を用ひんとせば論語なきに非ず孔子と面晤するに異ならず彼若武を用ひんとせば孫子なきに非ず十三篇の兵要收めて彼の手中に在り彼若群雄を操縱し北朝の諸侯を屈せしめんとせば戰國策鬼谷子等縱橫の書なきに非ず國を富まし兵を練らんと欲せば管子なきに非ず治亂の跡を見政に資せんとせば史記漢書なきに非ず彼果して何の書を讀しや我は疑訝に堪へざるなり彼資性猜忌刻薄常に人を見る仇讐の如し刑を行ふや情を用ひ公正ならず既に商韓の說に異なれり商韓の說く所刻薄なりと雖も法を持するや公正なり彼既に文武の罪人のみならず又刑名の罪人なり父武帝の寛厚に似ず用ゆるに淫刑を以てす故に臣節を盡すものなし是彼の敗滅を免るべからざる主因にして而して其罪を讀書に歸するに至ては狂愚又憐むに堪たり或は云ふ成吉斯汗讀書の功を須たずして大業を成せりと四千餘年の間讀書の功を積まずして大業を成すは唯一の彼あるのみ

（未完 九月十日旅順に於て）

本日朝刊共八頁（附録）

物品購買入札公告

薪 壹萬壹千貫

此入札保證金ハ各自入札高ノ百分ノ五以上

右入札ニ附ス供給請負希望ノ者ハ本府庶務係ニ就キ入札人心得書契約書案、仕樣書、見本等熟覽ノ上本月十一日午後二時限リ本府庶務係ヘ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充指任ス

大正四年十月四日 京城府

破產宣告公告

三本熊之助

右ノ者ニ對シ破產ヲ宣告シタリ詳細ハ本年十月二日夕刊ノ京城日報ニアリ

京城地方法院

醫學博士 室谷修太郎先生述（萬戸必携の家庭參考書）

家庭衛生及救急法

最新刊 一名醫者のくるまで 定價金五錢 郵税二錢

內容 一、個人衛生 二、傳染病豫防 三、凍傷 四、火傷 五、溺死 六、狂犬病 七、中毒 八、假死（人工呼吸法）種々の假死に於ける手當…中毒、電擊、縊死、溺水、硬直、凍死、瓦斯中毒、燈用瓦斯中毒… 十一、… 十二、外傷、劍傷骨折、脫臼及捻挫 十三、家庭必備の藥籠具及藥品

家庭博覽會內の賣店及市內各書肆で實費を以て御頒ち致します部數に限りありますから至急御買求を願ひます

發行所 京城大平通一丁目 振替口座京城三〇〇番 京城日報社代理部

〔縱五寸・橫三寸・厚二寸〕（凡そ四分の一縮寫）

特價提供

電氣工學ポケットブック

◎現代の電氣界は斯の如き新書を要求す◎

工業專門書肆「建築書院」發行の「現今我邦電氣界唯一の本書は」「頗る時代の要求に適應し」「空前の最大好評を博す。」

初版、再版忽ち盡し「今や第三版亦」「將に盡きんとする」「實に斯界稀有の大盛況。」

遞信省技師 工學士 若日田利助氏
遞信省技師 工學士 高津清氏 共編

◎全一冊（六號活字）……總皮金線美裝釘
◎紙數千九百十六頁……挿圖千二百四十二箇

三千部限り 特價金四圓（正價五圓）……內地書留送料金十八錢 滿韓臺樺送料金四十錢……（特價部數盡くる時は即日正價に復す）

◎本書は。編者が滿三ヶ年間の苦心にて完成したるものなり。其內容は。日本文にて電氣工學全般の粹を網羅す。徒に表數字等の陳列に止まらず。或る程度まで說明を加へ特に挿圖を多くせし。至便なる座右必備の實用的顧問也。

◎本書は。亦、電氣事業主任技術者資格三級、四級受驗者諸君の其受驗準備に資り參考と研究に不可缺斯學の寶典也。

內容目次大略 (1)電氣及磁氣測定 (2)電池 (3)電信 (4)電話 (5)無線電信電話 (6)電力輸送及配電 (7)發電所 (8)直流發電機及電動機 (9)交流發電機、電動機及變壓器 (10)電氣鐵道 (11)電燈及照明 (12)電氣及磁氣 (13)電氣用材料 (附錄)（終）

發行所 東京市京橋區南槇町十三番地 工業書肆 建築書院 振替口座東京九四一八 電話京橋四七七

賣捌店 京城本町二丁目 大阪屋號書店（電話二千八十六番）

新學期開始

親切な講義

英語講義錄

世界的交渉の益々繁劇なる文明のビジネスは就職要件の第一位として英語を解せりや否やを云ふ事に決定せり此際に英語の必要を喋々せず只學ばんと欲せば多年の經驗と努力とに完全なる設備とは兩々相俟って本邦隨一講師の大家が各一流の最新英語講義錄に表れ茲に第廿回の新學期を開始せる本會の學科を初等、中等、高等の三學科に分てり

會則進呈 內容見本附詳細案內書 申込者に郵代進呈す

東京市麴町區富士見町 大日本國民英語學會 電話番町三四〇七番

列強大戰

▲最後通牒到達

露都來電に曰く、勃牙利首相ラドスラボフ氏は四日午後四時露國の最後通牒を接受せりと（倫敦電報）

▲聯軍サロニカ上陸

聯合軍はサロニカに上陸せりとの報道到達せり（倫敦電報）

▲塹壕戰繼續

巴里來電公報に曰く、アートア方面にてはジヴアンシー附近の南東方の山頂に於て彩目塹壕戰繼續したる結果、聯軍は五個の道路の横斷點に於て新陣地點を獲得したるが其の他の方面には屢々猛烈なる逆襲を試みて在る處に依り撃退せられたり（倫敦電報）

▲米國政府意嚮　アラビック號撃沈問題

華盛頓來電に依れば獨逸大使ベルンストルフ伯は二日國務長官ランシング氏に對しアラビック號撃沈事件に關し提出せる通牒を齎らし大統領ウヰルソン氏と會見凝議するところありたるが其內容に付き探知する處に依れば獨逸は斯の如き非行を再演せざる旨を聲明し且つ其の責に任ずべしとの米國の要求を滿足せしむるに至らず爲に米國の更に取るべき手段は獨逸大使ベルンストルフ伯を首府に招致して米國政府の意見を傳ふるにありと（倫敦電報）

▲希臘首相說明

雅典來電に依れば希臘首相ヴエニゼロス氏は議會に於て聯合軍のサロニカ上陸に關し說明をなしたるが終つて議會は政府信任の決議を通過したり（紐育電報）

◎皇太子殿下御還啓

伊勢灣に於ける第一艦隊實彈射撃御見學を了へさせられ五日夜御歸京の皇太子殿下には六日午後二時御參內天皇皇后兩陛下に御對面種々御物語あらせられたり（東京特電）

◎李王世子演習參加

近衞步兵第二聯隊附なる李王世子殿下には檢閲演習御參加の爲六日千葉縣下習志野に御出發ありたり（東京特電）

◎戰役功績審査委員

日獨戰役功績審査の進捗に伴ない同審査委員に大島次官、田中參謀次長、陸主計總監以下陸軍省各部長局長十八名任命せられたり（東京特電）

◎米價調節委員任命

米價調節調査會官制は六日御裁可を經て勅令を以て公布せられたり尚ほ該委員は官吏、上下兩院議員、學者、實業家を合せて七十一名にして外に幹事二名を擧げたり而して會長に河野農相副會長に澁澤男を任命せり（東京特電）

◎教授會の決議　新大學案に對し

文部大臣は去る三十日東京京都九州東北の四帝國大學に向つて教育調査會に提出したる新大學案の可否を諮問せる外帝國大學は其大學豫科に於て年限短縮の餘地ありや否やの一項を添へ諮問したる由なるを以て右に付各帝大學にては四、五兩日に亘り教授會を開き協議の結果大要左の如く決定せり（東京特電）

文科

一、豫科大學は大學豫科二箇年とする事

一、右の場合に於ては大學豫科は必ず高等學校長の直轄の下に在るを要する事

一、右の程度より低き大學の設置には絕對反對なる事

工科

一、現制の豫備教育を引下げんとする案には絕對反對なり

一、工科大學以外に低級の大學を設立することが單に學士の稱號を與ふるに止まるならば敢て反對するに及ばず

農科

一、現制度よりも學力の低下を來すことは反對なり

一、苟も國家が大學制度を定むる以上四、五、六、七年勝手次第といふ如き無主義無定見には贊同する能はず

法科

一、本案は不備の點多く此れ丈にては確と要領を得る能はず

文科

一、本案は大學教育に關し充分なる調査を遂げたるものと認むる能はず

理科

一、改正制度の豫備教育を引下ぐることには絕對反對なり

一、他に低級の理科大學を設置することには贊同せず

◎支那公使の招待

支那公使陸宗輿氏は六日正午大隈首相、日置公使並に澁澤、近藤兩男、大倉喜八郎、中野武營、松井外務次官等を永田町公使館に招待し首相、公使の挨拶ありて午餐を終り別室にて歡談をなし午後二時散會せり（東京特電）

◎石井男親任期

豫て專任外務大臣として內定せる石井菊次郎男は十二日神戸著の豫定にして十三日入京即日親任式を行はる可き筈なりと（東京特電）

◎北里博士渡鮮

醫學博士北里柴三郎氏は朝鮮に於ける傳染病其他を視察の爲め六日午前八時三十分東京驛發渡鮮せり（東京特電）

◎朱將軍歸任

北京よりの歸途二日來奉段上將軍に中央の政況を報告し且つ軍務の打合を爲しつゝありし朱黑龍江將軍兼巡按使は六日朝出發歸任せり（奉天特電）

東京發別電

◎勃遂に獨側に立つ 態度不鮮明なりし勃牙利は遂に獨墺側に立つ爲めに巴爾幹は獨墺、聯合兩軍の混戰地となれり

◎大藏省の困憊 朝鮮臺灣兩總督府に於ける本年度實行豫算は節約不可能にして大藏當局は頗る困憊し居れり

◎鵬翼東奥に向ふ 大演習參加陸軍飛行機隊は七日所[illegible]

◎在外正貨到達 政府に於て取寄せたる在外正貨二千萬圓到著せり

◎外相親任期 歸朝の途にある石井大使は十三日入京の[illegible]十四日外務大臣親任式行はる[illegible]

◎開院式と觀兵式 十二月一日帝國議會開院式を擧行し二日青山練兵場に於て大觀兵式を行ふ事に決せり

◎明石艦の凱旋 練習艦明石艦は豫定の航海を終へ五日無事凱旋せり

◎俘虜亦不穩を企つ 久留米に收容せる獨逸俘虜は四日不穩を企てたるも內三名を逮捕處罰し鎮靜せり

雜報

◎出品審査終了

共進會の出品に對する審査は其後着々進捗し農産物に關する一部を除く外は既に全部の査了を見たるより昨今引續き審査部長會議を開き各部の振合其他に付き協議中なれば遠からず確定す可く褒賞授與式三日前なるべしと

朝鮮の物産を召す

閑院宮殿下御買上の榮を賜はりし品々

開會式が終了してから共進會を見物した人々は、出品物の間々に「閑院宮殿下御買上品」と記された札の附せられたものを各館に見出すであらう、之れは云ふ迄も無く、開會式當日閑院宮同妃兩殿下台臨親しく御巡覧あらせられたる際御買上の光榮に浴した物で、その數八十八點の多きに達し、詳細は別項の如く農業品二十八點、林産物二點、水産物九點、工業品四十二點、教育製作品三點、繪畫四點である、右御買上品について青木共進會委員は謹んで語る

一日、開會式から祝賀會に台臨遊ばされた閑院宮同妃殿下には式後三時間餘の長きに亘つて、第一號館から順次各館を

▣仔細に御觀覧 あらせられたので、私は絕えず御後に扈從し、御眼に止り御買上げの仰せのあつたものを一々帳簿に控へてゐたのであるが、兩殿下には主として朝鮮の産業獎勵に意を注がれ、單に珍品とか精巧な優良品といふ丈でなく、廣く各部に於ける各道の特産物、又は將來有望なる産業品に御眼を止させられ御買上の儀を仰出されたのは誠に有り難き御事と感佩した次第である、その重なるものに就いて見ると第一部の農産物中では米大小豆、麥の如きものから、煙草の製品まで御買ひ上げになり朝鮮の世界的特産として世に知られてゐる、紅參白參を御用命あらせられ、第三部の林業部では

▣栗と松の實を 第五部の水産物では支那輸出向きのものを主として御選擇あらせられ乾鮑、海參、魚翅、鰯、玉珧柱貝等、又た網地は統營の會社で現に製作しつゝあると

いふので第六部の工業部では各道の特産物及びそれ〲代表的の織物を例へば忠南の苧布、咸北の麻布、平壤の絹織物、全南の筵、慶南の簾、京畿の莞草花莚、全北の帽子紙、慶北の油紙、慶南の擬紙細工、朝鮮皮革のキット皮等を御擇び遊ばされた如きそれである、その他教育製品では特に生徒の製作品であるといふので京城高等普通學校の出品になる刺繍の衝立その外の實習品を官廳出品のものでは中央試驗所の陶器、山縣政務總監の蘭と金允植子の書を螺鈿細工にした漆張の衝立等が

▣御買上の光榮 を得たのであるが、中にも富田儀作氏と海市商會の高麗燒、美術品製作所その他の銀器は朝鮮の有名な特産品といふ意味で、又盆栽の蔦と眞柏の中眞柏は朝鮮に限られたものといふので御擇び遊ばされたもの、美術品中の繪畫、安中植、金圭鎭、趙錫晋、金應元四畫伯の作品は朝鮮畫家の描いたものであるから特に御買上遊ばされたのである。

◎御大禮と安東縣

御大禮奉祝に關し安東縣にては四日午後四時より民團役所樓上に官民有志二十餘名參集の上諸般の協議を遂げたるが（一）奉祝式典は御即位禮當日[illegible]に於て嚴肅に之を擧行し（二）[illegible]（三）祝賀會は大禮第一日開[illegible]

◎小松原氏日程

昨夜入京巴城館に投せる小松原[illegible]氏は[illegible]六日午前[illegible]總督府に寺內總督、山縣政務總監を訪問し午後は[illegible]七日より十四日に至る日程左の如し

▲七日　午前共進會觀覧、午後共進會、美術品製作所、家庭博覧會視察、夜[illegible]

▲八日　午前水原模範場視察、午後永登浦皮革會社觀覧、夜花月に於ける同窓生歡迎會に出席

▲九日　午前同會に出席、午後一時より京城ホテルに於て講演會に臨む

▲十日　午前東洋協會朝鮮支部大會に臨席、午後同上、夜朝鮮ホテルに於ける分校講師支部幹部の招待宴に出席

▲十一日　午前午後とも京城各學校視察、夜花月に於ける岡山縣人招待會に出席

▲十二日　午前纛島模範場支所視察、午後工業傳習所視察

▲十三日　午前元山に赴く

而して十四日歸京の筈なるが其後の日定は未定なりと

十年一昔

植村俊平氏談

朝鮮は十[illegible]の地であるだけ[illegible]

[illegible]からして內地の資本家が投資をするとしても朝鮮人は其要素となる可きものである、故に內地人は朝鮮人を愛撫し、鮮人も亦內地人の指導啓發を諒として双方協心同力して行けばそこに全く發達を來すのである、一體個人間の誤解ないといふことは其人の眞意を了解しないのも一因であるが、要するに相互に好意を以てすれば萬事圓滑に行けるのである

▲生產と資本家 共進會を觀ても判る如く[illegible]生産能力[illegible]

▲內鮮人の協力 內鮮人に慢心を起させると云ふことは勿論避けねばならぬことであるが、さりとて今も猶ほ稀には內地人が朝鮮人を一階級下の人種の樣に偏見を懷いて居る者があると聽いて居るが是等は朝鮮に來て居る內地人の最も戒む可きことだと思ふ、何んと云つても朝鮮人は千三百萬人の人口を有して居るのである

▲朝鮮の女と家庭 之れを教育の力に由ると云はふと云ふものゝ進步の如く朝鮮の女が外出する樣になつて來たことは非常に喜ぶ可き現象である何故とならば女の外出すると云ふことは文明の證據であつて新思想が家庭に浸入したと云ふ證據で其處に健全なる思想が確立さるゝこと、なるのである一面には朝鮮の家庭は女の手で改良されて行きつゝあると云はれる位で中々面白い現象であると思ふ是等は大に獎勵す可きものだと思ふ併し近來一にも二にも改良々々と口にし乍ら却つて朝鮮在來の美風を失墜して居るものもある例へば祖先崇拜の如きものであつてこれなどは指導の任に當る可き者が最も留意す可きことゝ考へるのである

◎支領事と國慶日

十日は支那共和國國慶日なるも支那領事館にては都合に依り祝賀を受けずと

◎仁川驛九月荷客

仁川驛九月中旅客荷物數並賃金は乘車人員四千五十五人降車人員一萬八百八十八人入場人員六百二十人發送小手荷物一萬一千八百七斤到著小手荷物一萬六千九百八十一斤にして發送貨物噸數二千二百十噸到著貨物噸數一千四百十一噸發送局用品四百六十五噸なり貨車收入は六千六百二十九圓九十錢客車收入は三千九圓五十九錢にして客貨合計九千九百四圓八十錢なり

◎蜂須賀侯へ記念品

在京德島縣人中の官公吏は目下入京中なる舊藩主蜂須賀老侯に對し歡迎の意を表するため記念品を贈呈したりと

◎細川侯安場男入京

細川侯、安場男爵一行は六日午後九時南大門驛著入京、多數の出迎人に擁せられ夫々指定の旅館に入れり

◎蜂須賀侯奉天行

入京中なりし蜂須賀侯は七日午前九時十分發にて奉天に向へり

◎橘瑞超師出發

滯京中なりし橘瑞超師は大谷光瑞師の電報に接し六日夜南大門驛發列車にて旅順に向け出發せり

◎北里博士來京期

來る十[illegible]北里博士は[illegible]八時三十分南大門驛に[illegible]

◎松崎局長入京

一日釜山に著し南鮮地方視察中なりし松崎農商務省水產局長は伊谷、北原兩技師を隨へ六日木浦發午後九時南大門驛著入京、朝鮮水產課長、齋藤技師其他官民有志の出迎を受け天眞樓に入れり

◎德富綱島兩氏入京

貴族院議員德富猪一郎氏は綱島佳吉氏同伴故市原鮮銀總裁の葬儀に參列の爲め六日午後九時南大門驛著入京直ちに市原總裁邸に向へり驛には朝鮮貴族實業家新聞記者等多數の出迎へありたり

◎小松原氏歡迎會

小松原英太郎氏來鮮に付岡山縣人會主催となり其歡迎會を來る十一日午後六時より花月に於て開催すべく出席者は九日迄に總督府澤田豐丈氏へ申込むべしと（會費二圓）

◎山口商業生徒

山口高等商業學校生徒三十五名は六日午後一時[illegible]觀覽の爲め來仁同二時より仁川稅關會議室にて櫻井稅關長の仁川港貿易狀況及び築港狀態に付き談話ありたり

人事消息

▲三井男一行　六日夜平壤より歸京

▲細川侯一行　六日夜釜山より入京朝鮮ホテルへ

▲蜂須賀侯一行　七日朝奉天へ

▲村井貞之助氏（實業家）　六日夜出發歸東

▲河野農相一行　六日夕元山へ向ふ

▲春藤一市氏（株式小島萬貝所技師）　六日朝入京山本旅館に

▲村上紋四郎氏（代議士）　六日夜入京同上

▲今井武人氏（慶南農工銀行支配人）　同上

▲井上主計氏（全北事務官）　同上

▲前田秀實氏（愛媛縣內務部長）　五日夜入京山本旅館へ

商況

大阪株式特電

東株　[illegible]

▲後場

當限寄付十一圓八十五錢△止め十一圓不來　中限寄付十二圓二錢△止め十二圓△先限寄付十二圓二十五錢△止め十二圓十八錢

▲後場の商戰

[illegible]

▲結局保合ひ

大阪入電は高下續く[illegible]

六日の十二月限

[illegible]

寶買取組高　十月限　七千百五十[illegible]　十一月限　二萬八千三百石　十二月限　[illegible]

中央大學在外員募集

本大學講義錄の配送を受けて法律經濟を學修する所の在外員を募集す○本月を以て大正五年度新學年開始し新講義錄の初號を發行したり入學志望者は此際入學するを最便とす

◎法科講義錄　◎經濟科講義錄

（各科共各三學年に分ち一箇年にして完結す）[illegible]

本大學在外員規則及講義錄見本入用の向は東京神田區錦町中央大學在外員掛宛申込あり次第送付す

◎弊舖の名譽

壹等賞金牌を受領せし

大清一流 カステーラは

閑院宮兩殿下御用命の光榮を賜はれり

仁川宮町 大清菓子店 電話一四八番

登錄商標　朝鮮總督府專賣課所管人蔘の精粹

高麗人三（錠劑 エキス）

登錄商標　朝鮮總督府法定消毒劑

アイゼル（液 粉末）

本舖 京城鐘路 宜壽堂 井上藥品部 電話四八番一二五七番 振替京城八二九九番

各國時計 自轉車 蓄音機 直輸入 卸商

京城黃金町一丁目百八十一番地 喜多金光堂（電話一〇一五番）振替口座京城七八二番

旅館 元山愛媛館 海岸通二丁目 電話三番

株式會社 朝鮮商業銀行

資本金五拾七萬五千圓（全部拂込濟） 諸積立金廿二萬五千貳百圓

京城南大門通一丁目 電話五五八番 振替京城一六六三四番

一般銀行業 倉庫業

銀行長 趙鎭泰　支配人 豐田明敬

南大門支店 本町支店 仁川支店 平澤支店

小兒科專門 內科 若槻醫院

京城旭町三丁目（元十全病院跡）

ドクトルメヂチーネ 若槻寬隆 電話二四六二番

大阪三品特電（六日後場）

京阪商銀 和洋由毛哉 合同紡績 鐘淵紡績 同上新株

四九、二〇　五〇、二〇〇　二一、二〇〇　九四、五〇〇

十一月限　九月限　十月限

一三二〇　一三五〇　一三五〇　一四、五〇〇

大阪期米特電（六日）

▲六日後場 [illegible]

▲後場小鈍し [illegible]

閑院宮殿下の御盛徳
外人及朝鮮貴族の感激＝小松翰長謹話

畏こき聖旨に依り御來鮮遊ばされたる閑院宮及妃兩殿下は去五日を以て釜山より御召艦にて無事御歸還の途に就かせられたるが、海陸千里の御旅程御疲れもなく、いと御快活に新版圖の人情風物を視察遊ばされたるは恐れ多くも難有事共なり。兩殿下の聰明に渡らせられ殊に外國人等との御交際にも老け給へるは我々の欽仰して措かざる所なり。當地に於ける各國領事官夫妻並に重なる外國人代表者等に接見せらるゝに方り佛語を以て懇ろに談話を交換せられ其の國其の人にふさわしき御言辭を賜りしかば、斯る高貴の方に接することの稀れなる外國官民は孰れも驚嘆畏敬せざるはなし。又朝鮮貴族の如きも親しく兩殿下の尊容を拜しまつりて孰れも御盛德を感銘し居れり。遠路兩殿下の御台臨遊ばされたるは畢竟我が皇室の朝鮮統治に御軫念あらせらるゝの深く且厚きことを證するものなれば、一般の人心に多大の感化を及ぼすべきは言ふまでもなく、吾等末輩に至るまで聖恩の優渥なるに感激し一層奮勵報效の誠を盡さんとするの至情禁ずべからざるものあり

南大門驛は一日一萬人の出入
電車は毎日三萬五千人の客

共進會で忙がしいものを數へ上げたら隨分多方面にあるだらうがその中でも先づ驛頭第一に指を屈したいのは南大門驛の今日此頃だ、急行列車が南北から二回着いて都合四回の發著となる午前午後の七時から十時頃の

▼同驛の雜沓　混雜は宛然戰爭の樣だがその騷ぎの中に京仁線が發著する京元線が出てゆく地方から始めて出て來た者が眼を廻す程騷ぐのは無理ではない、昨今の同驛一日の發著列車數は急行列車から臨時列車、貨物列車とも合せて八十回、その各列車毎に平常よりは大抵三輛內外の車輛を增結してゐる、團體乘客その他の乘用に充てゝゐるのだ、恁な調子で同驛に有りつたけの客車は何れも精一杯に働いてゐるわけだ隨つて驛員も大して增員したと云ふでなく

▼不眠不休の　大活働で驛長助役以下まだ共進會見物どころか門外に足を踏出した事もありませんと云つた始末は多少同情に値する乃で九月十一日以降卅日までの降車人員は九十三人二等二千四百七十人三等六萬八千九百九十八人此の合計が七萬三千三百三十五人內地鐵道南滿線の連帶客は一等九十三人二等三百十五人三等千二百九十五人合計一千七百三人總計七萬三千三百五十八人であつて十六日頃から急に殖え出して一日三千五百以上五千人內外の降客がある多い時は廿五日及び廿九日の如く五千三百人にも達した事がある之れが

▼正眞正銘の　日々の入京者で昨年の同時日に比べると三倍強と云ふは大したものだが之れ以外進行から步いて來る者を加へたら日に六千人位は這入つてくる事になる、次ぎに乘車人員だが之れは團體客の往復券があるので明かな數字を現はすことは出來ないが單一驛なる京城の如きでは何れの場合にも乘降人員は相伴ふといふ原則を以て推せば一日の乘降數は一萬人は優にある、同驛營業開始以來の數であるといふに至つては愈々盛である、勿論此中には西大門驛龍山驛は含んでゐない又同じく市中の乘客を目的とする電車もずつと客が增して汽車發著の午前十時前後出盛り頃の

▼夕景の電車　は來る車も來る車も滿員で停留場を突切つて馳走してゆくのも稀らしくない事だ、九月十一日から十月三日迄の一日平均の操行哩は約七千哩運轉車輛數は五十四臺最大限六十七臺出したなどは會社創立以來恐らく始めてであらう乘車延人員は矢張り五萬四千百二十六人になつてゐて全くの人數に引直すと一日三萬五千人はかりに當る調子で此の五十日間に上つて終ふかも知れぬ、その次ぎは人力車だが之れが內地人の組合に六百臺

▼朝鮮人の組合　に約八百臺あつて都合千四百臺の車が皆相當の客を乘せて走つてゐるのも景氣がいゝが停車場前には內地人組合から始終百五十臺から二百臺位詰めてる外共進會場にも百臺近くズラリと並んで客待をしてゐる、貸自動車の臺數は十五六臺に過ぎない丈忙がしい事である

天勝一行乘込（向つて右天勝）六日午後九時南大門驛にて

京城の藝者及其お客
『藝者論』の著者　矢野恒太氏の感慨談

話は少し舊いが先日第一相互生命保險の社長矢野恒太君が北鮮へ行つた歸りに京城を素通りで釜山に向つた時の事乘り合はした記者を見て『ヨー、是れは是れは、私は京城は此儘御免を蒙むりますよ、恁な忙がしい最中に飛び込んで追つ立てられるより、來年の春迄の閑な時に來ていくらか持てた方が得だからナア、君』一寸辨當を食べるから、[illegible]』と言ひ作ら

□アルミの[illegible]

『どうも南大門驛の辨當なんて天下の不味さだナア、名古屋辨ではないがナンデヤイモとでも言ひたくなるね』と惡口言ひ々々ツルリと禿げた頭の蠅を箸を掴つた儘の手で追ひ作ら、僕は不幸にしてまだ東京に於ける程京城の藝者なるものの生活狀態、心理狀態を詳しく知る事が出來なかつたがどつちに轉んでも大した相違はないのだから今度來た機會に彼等に接する光榮を得た時の感想より一寸又藝者論をして見ようかな、京城には隨分澤山居るやうだ、顏の綺麗なのも隨分多いやうだ、併し話せるのは先づ先づ少ないね、

[illegible]音はと鳥無き里の蝙蝠で、少し綺麗な奴はイヤにツンとして居たり、孰れを取るかと申せばまあ僕には後者の方だ……併し面白いもので彼等藝者連中の人生觀と云ふものは存外深刻で正直で之を聞いて居ると一寸八釜しい道德訓よりは早くキヤツチする事があるものだ、新聞記者などが飛耳張目して知るに困難な事も彼等には先きにわかつてる事もある殊に二三人で飲んで居るとし給へ、から話の種が盡きると人物評や惡口をおつ初める、それも素面の時にはいくらか遠慮して控へるが酒にでも醉つて來ると興に乘じて彼奴はこんな缺點がある、彼奴はこんな弱點があるなどゝ他人が聽いて居るここがつい無頓着になる、交際つた時は人間が赤裸々の性情を曝らけ出すので、

□誰れは案外堅いとか誰れは見掛けによらぬ好き者だとかさう云ふ場合に直ぐ藝者共の眼に映ずる、頭が空つぽで何にも出來ぬ癖に徒らに邊幅をのみ飾りイヤに威張りあがつて納まり込んでる奴に限つて得てして女の尻を追ひ廻はしたり鼻毛を讀まれて居る、百中の百とまで行かずとも大多數がさうだから可笑しいよ、京城あたりでも平生妙に威張つてる先生達が案外弱點を有つて居る事は吾輩聊か探り得たよ、聞くともなしにかゝるものだ、京城の藝者個人についての論評は後が怖いから止めて置かう、卑怯に逃げる譯ではないが……それから料理屋の女將について一寸感じた處を言つて見れば、喜久家の女將は先生と言はれて餘程面白い人物なやうだが充分其人格に接するの機會を得なかつた

□千代本の女將は批評し得る丈けに言葉も交へた

彼れお千代は豪い女の部類に屬しもしか男にしたら相當の人物となるべき資質を備へて居るやうだ一寸惚れさせる意氣地を有つて居る、大阪の女だが江戸子式の氣前を發揮するところが宜い、但し今が彼女には大切の時だ、餘り乘り氣になつて[illegible]すると可らず、……と云つて拙者はお千代に恩を被て居る譯ではないよ、兎に角京城では右の二人が女將としての個性をよく發揮して居るやうだ喜久家の文之助には今度來た時よく接近してその人格を觀察するとしよう、そしていづれ滿鮮藝者論ある可しと

でも聞いて見るかな、ナニ共進會の演藝館の踊りだつてさうですね、京城ではまあ〱あれで精一杯でしよう、何しろ金が大變要つてるさうだから、併しお守役もお骨折の事だらう

本日より三日間家庭博のお祝ひに出演する天洋一行（上）天洋（中）不二子（右）絹子（左）菊子

向ふ三日間毎日正午頃から夕景まで

天洋は一行奇術師中の花方美人菊子絹子、不二子の三名を引き連れ家庭博後庭の高座で得意の大魔術を行ふ事になつた、天洋は人も知る大奇術師天一の娘で天一生存中は其唯一の片腕で天一以上とまで言はれた程の名人二回まで洋行して獨逸では皇帝陛下の御觀覽を忝うした事もある此天洋が家庭博に現はれて[illegible]を演じ一座の花形不二子、絹子、菊子等が[illegible]の手際を現はし又特に天洋秘傳の奇術魔術の種明しをするさうな殊に此三日間中は家庭博の入場者には世界館の半額券を一枚づゝ配り更に天洋は高座の上から例のカードを數百枚見物を目蒐けて見事に投げ散らし之

家庭博入場各位に限り

民友社出版書籍全部二割引

家庭博賣店に品揃あり

家庭博覽會

本日の眞晝間

奇術魔術種明かし

△家庭博入場者の特權

△天洋一座の家庭博お祝

七日からの家庭博には目下黄金町の世界館で連夜大入滿員の盛況を占めて居る大魔術松旭齋天洋一行が現はれる之は天洋後援會が家庭博の盛況を祝して演せしめるので七日よ

市原總裁葬儀
本日午後四時半

故市原朝鮮銀行總裁の葬儀は今七日午後零時半自邸にて出棺式同三時出棺同四時卅分京城鐘路中央基督教青年會館にて朝鮮銀行々葬を以て執行され由本組合教會牧師司會の下に特に入京せる牧師綱島佳吉氏の追悼說教、德富猪一郎氏の履歷朗讀あり、寺內總督代理及び總督府各部長官局長各國總領事其他市內各銀行會社代表者等約二千人の會葬者ありて非常の盛儀たる可しと而して同志社校友會を代表して原田氏友人を代表して德富氏其他六名の追悼文朗讀者ある可しと

無料入場券とす

本町四丁目神[illegible]家庭博今日の賑ひは[illegible]を世界館[illegible]るといふ趣向、又格別であらう

◎神理教分院の說教　神道神理教京城分院にては今後毎月七二十七日兩日午後七時より說教及び有志の神道講演ある由

◎武藏野の光榮　東亞煙草會社の製造にかゝる口付紙捲煙草武藏野は朝鮮大共進會に出品中の處今回閑院宮殿下御臨場の際御買上の光榮に浴し非常の面目を施したるが同會社に於ては此際更に品質の精良に注意し產業奬勵の趣旨に努力すべしと

▲いよ〱奈良丸　本日限り大割引
△大石妻子別れ　△勝田新左衞門　長講二席
本町一丁目　電話二六六番　有樂館
主催　都鳥　小島吉五郎

▲奈良丸と龍山　有樂館に好評を博したる浪花節の大關吉田奈良丸は八九の兩日龍山の佐久間座にて開演[illegible]同座は目下[illegible]興行をなす由にて二日間にて打ち切り日延をなさゞる由

京日案内

◎普通 [illegible]
◎看護婦募集 [illegible] 689
◎外務員募集 [illegible] 635
◎好店員入用 [illegible] 688
◎[illegible] 677
◎番外 [illegible]
生徒（二）募集（二）[illegible] 684
▲花柳病專門藥房 [illegible] 京城南大門外 電話二三六七 687
◎古着古道具類 一般 クヅ谷商店 680
好職業 [illegible] 681
◎ほねつぎ（うちみ くじき）等 一切の治療御依頼に應す 明治町 柔術道場 685
◎募集 新聞配達人數名募集す 但し市內に確實なる保證人を要す 希望者は本人至急來談あれ ○明治町二丁目 町田新聞部 673
旅館 宿泊料金一圓均一 特に別府湯泉の設備あり 地方各位樣の御便宜上前日若しくは御報知に應じ停車場迄御迎に差向升 京城本町三丁目四四一一九一三番 大和館 661
書記 高商卒業程度數名 甲種商業卒業程度數名 右採用す希望者は日英文履歷書携帶向三日間午後一時半頃來談あれ ○長谷川町五八 ○シンガーミシン會社 679
皮膚病 花柳病專門 永樂町商品陳列所坂の上 須古醫院 電話二〇二番 566
◎マッサージ鍼治灸點 特得治療 胃の痛み腹痛赤痢虎列剌の豫防 神經痛 痔疾小便閉上の痔は一二回にて直ります是余の特得たる處なり 府廳官舍前橫入電話一八七八一 陽京城堂 616
◎かせぐすりに百種あり 第一カゼピリン 627
◎鑛物分拆 各種 鉛銀鑛石買入 京城太平町二三百四十四番 坂本分拆所 636
共進會期中御來寫の方へ共進會入場券又は黃金町世界館興行中の松旭齋天洋大奇術觀覽券何れか御好に依り進呈仕候 黃金町二 電話一四三四番 高等寫眞館 638
成從 特產 種子苗木 農具商 平壤栗 おろし 種子用 食用 小賣 京城勸農園 電話七〇四 振替口座京城五六 639
分權 專賣特許 佳味滋養豆乳 製造販賣の分權 各市郡一名宛募集希望者來談あれ 十月十日迄 京城若草町百六番地 電話二二六三番 分權所 西村商會 660

新刊書御案內
書名 著者 定價
[illegible] 一、八〇
野火 歌集 一、七〇
三味線草 [illegible] 一、九五
藝術と哲學との間 石坂養平 一、〇〇
すみだ川 永井荷風 一、三〇
歌に入る迄 金子薰園 一、七〇
奇聞珍談南洋土人の話 一、五〇
性慾と花柳病 一、七〇
性慾教育の研究 羽田 一、二五
兩京去留誌 德富猪一郎 一、五〇
頭を抱へて 一、九五
批評の要義 一、七〇
新書の手引 一、三〇
現代の西洋繪畫 一、六〇
有聲錄 小中村淸矩 一、五〇
國民道德訓 一、二〇
修養の礎 一、二〇
農村改良の話 一、四五
產業組合の話 一、四〇
一坪農業施設經營の實際 一、〇〇
國語百訣 一、七〇
京城本町電話一〇八六番　振替京城二五七三　大阪屋號書店

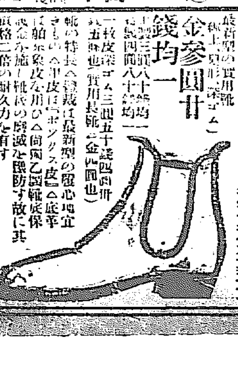
■安奉沿線 五龍背驛を距る二丁 ■閑靜にして避暑に宜しく避寒に宜し
滿洲 五龍背溫泉
■風光絕佳にして一大樂園地なり ■諸病に特効あり理想的療養場なり ■宿泊、下宿、自炊、各樣の設備あり

目ぐすり中の目ぐすり 登錄商標 岸田 目藥 精錡水

東京 高等女學校卒業 東京美髮學校卒業 女髮結 菅澤民子 本町二丁目九八番取次電一三八二番

農場及技術員 被雇度 中等教育修卒青年果樹蔬菜に關する學術技藝を專攻せり農場又は技術員に被雇度委細面談（姓名在社） 676

急告
小杉原英太郎氏歡迎の爲め來る十一日午後六時より南山町花月に於て岡山縣人會開催致候に付多數御出席希望仕候
追て御出席は九日迄に總督府內務部澤田豐丈氏へ御申込の事又會費三圓當日御持參の事
十月六日　岡山縣人會幹事



最新型の實用靴 袴上靴 金參圓也 錢均一 金參圓廿
東京 日野製靴店 有樂町 振替東京九九五一

千生瓢（5）

須藤南翠作　筒井年峰畫

颶風の前（五）

瀧川左近將監一益が、長島の城に姪の源八郎、一族の彦次郎を留めて其身は桑名の城に楯籠り、日置五郎左衛門尉、谷崎忠右衛門、山路九郎大夫、小林直八、岡部常藏、平井彦總など、宗徒の勇士七千餘人を加勢として、弓矢、鐵砲、丸藥を、十分に貯へて居る事、龜山の城へは、瀧川三九郎、佐治新助、[illegible]關[illegible]藏に三千餘人を籠め置く事、峯の城へは、瀧川儀太夫詮益を大將として白子六郎右衛門、宮地左内、青地[illegible]母等二千五百餘人に守らせ居る事迄秀吉の手許へは委細に知れて居た。

そこで、黒田官兵衛孝高に小川土佐守、伊藤掃部助、一柳市助、堀尾茂助等六千餘人を峯の城へ、蜂須賀彦右衛門父子、堀久太郎秀政、仙石權兵衛秀久、羽田安藝守、[illegible]、關安藝守盛信を案内者として、其勢五千餘人を龜山に向はせ、秀吉自身は、長岡與一郎忠興、中川瀨兵衛清秀を先鋒とし、明石與四郎、大谷慶松、木村小集人等三千餘人を二手に分ち、七段備の本陣一萬二千之に次ぎ、後野孫兵衛、木下左衛門尉、赤松彌三郎の五千餘人、兵粮小荷駄の奉行して後詰となり、安樂越より進出して神戸、白子に陣を取り、先づ瀧川の不意に出たのであつた。

桑名の城へは櫛の齒をひく如く、三方より早馬の注進が絶えなかつた。一益は躍り上つて切齒をして

一昨日までの注進には、鳥居本、番塲に支へて、美濃路に向ふと聞えた『筑前、いつの間に我が領內へ寄せ參つた、梢を渡る深山猿、小賢しく振舞ふとも、領內深く押寄せたからは何しに生けて還さうぞ、一益が一期の働き、猿が素首取らいで混かうかツ』

軍扇を舉げて我が膝を發矢とうてば、草摺の鍍金具跳反つて、鏘然として響を發した。

『龜山の城、敵間近く寄せ參つては籠城至極難儀おざりまする、疾く御加勢を遣はされずば成りますまい。』

谷崎忠右衛門は堪へ難て發言した一益も點頭いた。

『龜山は申すに及ばぬ、峯とても要害ばかりは恃めぬわ』

『さらば誰を向けませうな』

『火急な塲合ぢや、大將分の評定を以て、急速に申し付けるがよい』

『畏まつてござる』と、忠右衛門は式禮して御前を退つた。

入交つて膝を進めたのは、岡部常藏であつた。

『筑前守既に神戸、白子を取切つた上は、之を途中に邀へ撃つか、引[illegible]けて籠城するか、何れか軍議を[illegible]めねば成り申すまい。御賢慮如何おざりませうや』

『言ふにや及ぶ。敵の備への整はぬ間に、本陣を擊ち破りて、鏖殺しにして呉れうぞ』

一益が強い聲には、火の如き怒りが燃えてゐた。

『御意至極と心得ますゐ。敵は長途の疲勞おざれば、撃ちかゝるには神速を尚びませう、不肖ながら某、先陣を御許し下されませうや』

岡部は雀躍して、今にも討つて出でぬべき勢ひであつた。

『待て、常藏。汝一人では心許ない。谷崎忠右衛門、山地九郎大夫、三人を先手の大將とする。面々が手勢の外、足輕百五十人、雜兵二百餘人を授ける。兎も角も敵陣の斥候を怠るな、いざ立て常藏』

『はツ』と領承して、岡部は欣然として出て行つた。

折柄城中俄に色めき立つて、何となく不穩の氣が充ち渡つた、一益は不快な面色をして、近習を顧みた。

『物ゝ情甚だ穩かならぬ氣、何事のあるか、見て參れ』

『畏まりました』と近習は走つて前殿の方へ行つたが、直に馳せ歸つて

『申し上げまする』

『何事ぢや、疾く申せ』

一益は床几から乗り出した。

『只今龜山の城兵五六人、馳せ參じておざりまする』

『何、龜山よりの注進とな』

『はツ、恐れながら落ち參つた者おざりまする』

『やあ、龜山は落城致いたかツ』

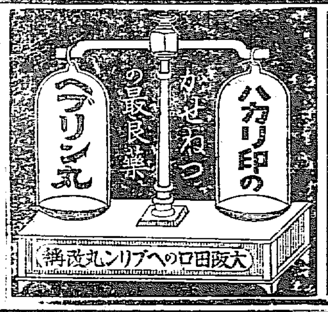
拳を握つて突立ち上つた一益の兩眼には、炎の如き憤怒が輝いてゐる

◎松茸狩は◎
南鮮第一の金井山と梵魚寺に
秋の景氣を眺めつゝ
溫泉場が至極便利
●御辨當は何時にても調進仕候
東萊　蓬萊館　電話東萊五番
●釜山鎭より電車にて二十分

御存じですか
△あつさを覺へず△寒さを感せず△膽量を増す△元氣盛に△血色を好くす△記憶力を好くす△輕便な事は朝夕三度の御常食になる事です[illegible]
製造元　京城太平通遠藤商店　電話九八二番に御注文被下候へば直に御届致します

◎英語界の元勳　頭本元貞氏は其主幹せるジヤパンタイムス學生號少年號の編輯に熱心に盡力し其の爲め同誌は[illegible]日々に更新し目下購讀者倍加せりと

◎不思議な白粉（驚くべき化學の進歩）
[illegible]



タンセキ改良劑
呼吸器散　呼吸器丸
本劑は最新高貴の祛痰鎭咳の特効劑を配伍せるを以て、如何に重き呼吸器病にても一週間程試よ！タンを祛りセキを鎭め胸苦しきを和らげ安眠の効を奏す
かゝる人に偉効あり
■息苦しく胸痛む人、■咳出て眠られぬ人、■たんに血の交る人、■聲嗄れ出でざる人、■のんど腫れ痛む人、■たんせき切れ難き人
價　十錢、二十錢、四十五錢
本舖　大阪　東京　丹平商會藥房
全國到る處に販賣す

りん病
消渇で困る方　多年の慢性も
自宅で人知れず秘密に治るフシギの妙藥あり只一劑を試よ切手三錢送れば其妙藥と自宅療法の詳細を報す
名古屋市南かじや町　武藤龜吉

しらぎの最大名譽
弊商會製造の
捲煙草『しらぎ』は
辱くも
閑院宮殿下より
御買上の光榮を得たる事を
愛煙家諸彥に
謹告す
廣江商會

朝鮮彙報

大正四年十月一日發行

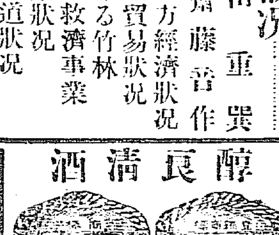
朝鮮彙報は朝鮮總督府に於て編纂發行せらるゝ月刊雜誌にして精確豐富なる材料に依り朝鮮百般の施設成績及狀況を記述し以て朝鮮研究者の資料に供す、本號に於ては特に始政五年記念共進會の記事を豐富にし之を色刷とし且口繪の數を增し以て一層其の精彩を加へたり

主要目次

◎口繪—第一號館拓殖部、審勢館、第二號館、土木及交通部、參考館、新築の京城郵便局
◎共進會記事□共進會の開塲□共進會巡覽記□共進會出品概觀□各種大會日程
◎朝鮮五葉松の直幹が末梢に至り二叉乃至四叉する理由……總督府植物調査囑託理學博士　中井猛之進
◎米國華府に於ける國立印刷局の概況……總督府技師　勝山重巽
◎青島の殖林事業……營林廠長　齋藤音作
■忠清南道篤行者事績概要■大正三年地方經濟狀況■醫學講習所教育事務狀況■內鮮間帆船貿易狀況■京畿道內國營造林事業概況■朝鮮に於ける竹林■大正四年夏蠶狀況■露國の戰時救濟事業■公普通學校の卒業生指導■堤堰狀修築狀況■簡易農業學校卒業生指導の實例■支那鐵道狀況■朝鮮不動產の權利の得喪に關する制度■寒天製造適地■朝鮮語動詞に關する重要なる疑問■江原道漁業狀況■香港に於ける朝鮮產玉珧の市況■朝鮮商業會議所令及朝鮮重要物產同業組合の要旨■李王職牧馬事業の概要■警務部長會議■國語及朝鮮語研究■鐵道運輸

●投稿を歡迎す　原稿締切期限每月十日
研究資料　官の調査と個人の研究とを問はず朝鮮研究に關する記事は努めて掲載す
地方通信　各地方の經濟事情、人情風俗、古蹟の紹介其の他一般狀況の通信を掲載す
質疑應答　法令、經濟、統計等に關する質疑に應ず何人も本欄を利用し得べし
投稿は必ず記名とす但し希望に依り彙報紙面を匿名となすことあるべし
●本誌は每月一回發行紙數二百五十餘頁　定價二十五錢　郵稅二錢五厘とす
●本誌は東京神田巖松堂書店、京城其他朝鮮各地書店にて販賣す

德富蘆花譯述　探偵異聞（第三版）
▲定價金二十五錢　▲郵稅本社持
○巣鴨の奇談○うらおもて○薄氷○雲がくれ○秘密條約○大陸探偵○まかつみの七編にして凡て外國探偵小說中の粹を拔き之を譯するに蘆花氏得意の妙文を以てす波瀾萬丈人物出沒の奇一讀魂飛び神飛ぶの思あり蘆花氏の著書中最も色彩を別にしたるものにして亦以て著者の多趣味多方面の一斑を窺ふに足る可し
京城日報社代理部　振替口座京城三〇〇番

醇良清酒

仁川本町四丁目　吉金酒店　電話七六四番

京城壽座前　太平堂名刺舖
電話二七一二◎振替三三六七　地方は郵送料不要

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行　小倉丸　十月　日後五時出帆
○元山城津浦鹽行　小倉丸　十月十四日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行　立神丸　月　日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行　立神丸　十月七日後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　十月七日後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　十月十三日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天草丸　毎月二日九日十六日廿三日　午後十時出帆
取扱店　大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
秀吉丸　十月七日後四時出帆
君が代丸　十月十一日後四時出帆
神代丸　十月十五日後四時出帆
大有丸　十月　日後四時出帆
○第二太湖丸　群山、大阪行
土海丸　月　日後五時出帆
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
第八共同丸　芝罘、大連行　十月七日後七時入港　十月八日前九時出港
大連にて青島行定期船に接續[illegible]
第一阪鶴丸　城津、清津、浦鹽行（元山出帆）　月　日後九時出港
第三共同丸　西湖津沿岸各港を經て雄基行（元山出帆）　月　日前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社　本町一丁目（電話一〇八番）
仁川代理店　山下回漕部
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運送店

大阪商船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
漢城丸　十月八日　午後五時出帆
×漳州丸　十月十一日
×溫州丸　十月十五日
○木浦、釜山、長崎行
安東丸　十月九日　午後二時出帆
△天智丸　十月十八日
○鎭南浦、大連行
安東丸　十月二十日　午後二時出帆
天智丸　十月十三日
○鎭南浦、關門、神戸、大阪行　月　日　正午五時出帆
○群山、釜山、橫濱行
△千珠丸　十月九日　午後四時出帆
△チヨイサン丸　十月廿一日
○大連直行
△千珠丸　十月十六日　正午出帆
△チヨイサン丸　十月廿七日
○元山、清津、浦潮行（釜山出帆）
地久丸　十月十七日　午後九時出帆
神宮丸　十月七日
城津丸　十月十三日
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
基隆丸　十月廿九日　午後四時出帆
新高丸　十月十一日
御注意
○朝鮮國道及南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候
○本船出帆約一時間前に御乘船を
○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り
仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二二〇番五五〇番
京城切符發賣所　內國通運會社支店　電話七八〇番

日本郵船仁川出帆
○大連太沽牛莊行
高砂丸　十月廿一日　正午出帆
三河丸　十月八日　正午出帆
相模丸　十月三十日　正午出帆
○青島直行（大連芝罘行）
江原丸　月　日出帆
仁川海岸町一丁目　電話十一番　堀回漕部

朝鮮郵船出帆
本社　電話長一九五二番[illegible]
京城南大門驛前　京城荷客取次店　松原運送店
全羅丸　十月十五日
京畿丸　十月廿五日　釜山發
黃海丸　十月九日
成鏡丸　十月十九日
昌平丸　十月十日　元山發
鏡城丸　十月十六日　元山發
竹清丸　十月七日　元山發
忠清丸　十月十四日　元山發
永興丸　毎月廿八回　元山發
嘉島丸　十月九日　釜山發
江陵丸　江陽丸　每日（釜山、浦項）發
三浦丸　十月八日　釜山發
海州丸　巨濟丸　慶尚丸　統營丸　每日　釜山發
順天丸　三日目每　木浦發
慶興丸　十月八日　木浦發
公州丸　十月十三日　木浦發
宗信丸　十月十三日　仁川發
江原丸　十月十六日　仁川發
麗水丸　十月九日　仁川發
晉州丸　十月十四日　仁川發
全州丸　南陽丸　毎日午前　仁川發
平安丸　十月十六日　群山發　十月十三日　若松發